

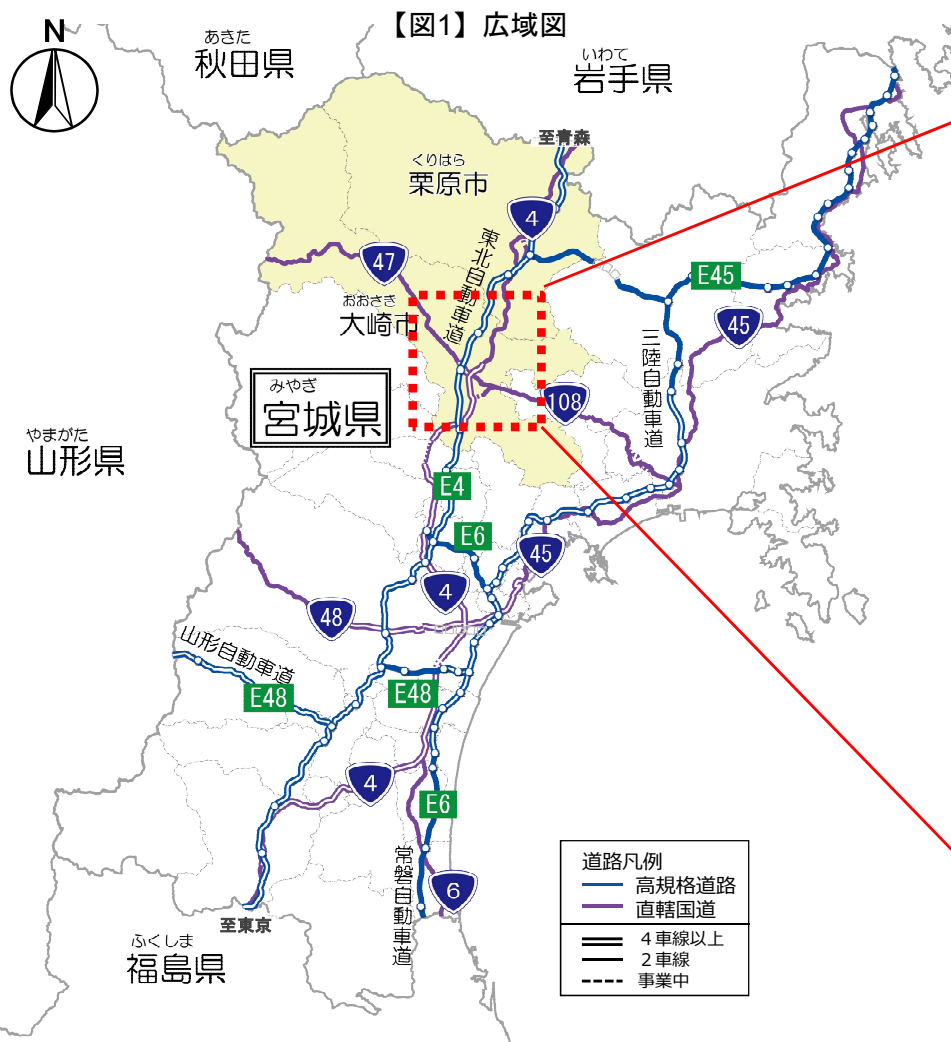
おおさき ふるかわ あらや くりはら たかしみず とよた
国道4号 大崎市古川荒谷～栗原市高清水豊田

第1回計画段階評価

1. 評価対象区間	・ ・ ・ 1
2. 計画段階評価の進め方(案)	・ ・ ・ 3
3. 地域の概況	・ ・ ・ 4
4. 道路交通・地域の状況と課題	・ ・ ・ 10
5. 政策目標(案)の設定	・ ・ ・ 18
6. 地域の将来像	・ ・ ・ 19
7. 意見聴取方法(案)	・ ・ ・ 20

1. 評価対象区間

- ◆ 国道4号は、東京都中央区を起点に宮城県白石市等を経由し、青森県青森市に至る延長約838kmの直轄国道。
- ◆ 評価対象区間（以下、「対象区間」）は、東北道と並行する三本木古川拡幅終点部から高清水バイパスまでの2車線区間である。
- ◆ 対象区間は令和3年4月に策定された防災・減災、国土強靱化に向けた道路の5か年対策プログラムにおいて、災害に強い国土幹線道路ネットワーク機能強化対策調査区間に位置づけられている。



1. 評価対象区間

- ◆ 対象区間の南側約16kmは三本木古川拡幅として4車線整備済みであり、北側約4kmは高清水バイパスとして暫定2車線整備済み。
- ◆ また、対象区間北側では大崎市が長者原スマートICアクセス道路として大崎市道宮沢高清水線を事業中。

【図1】 評価対象区間の位置図

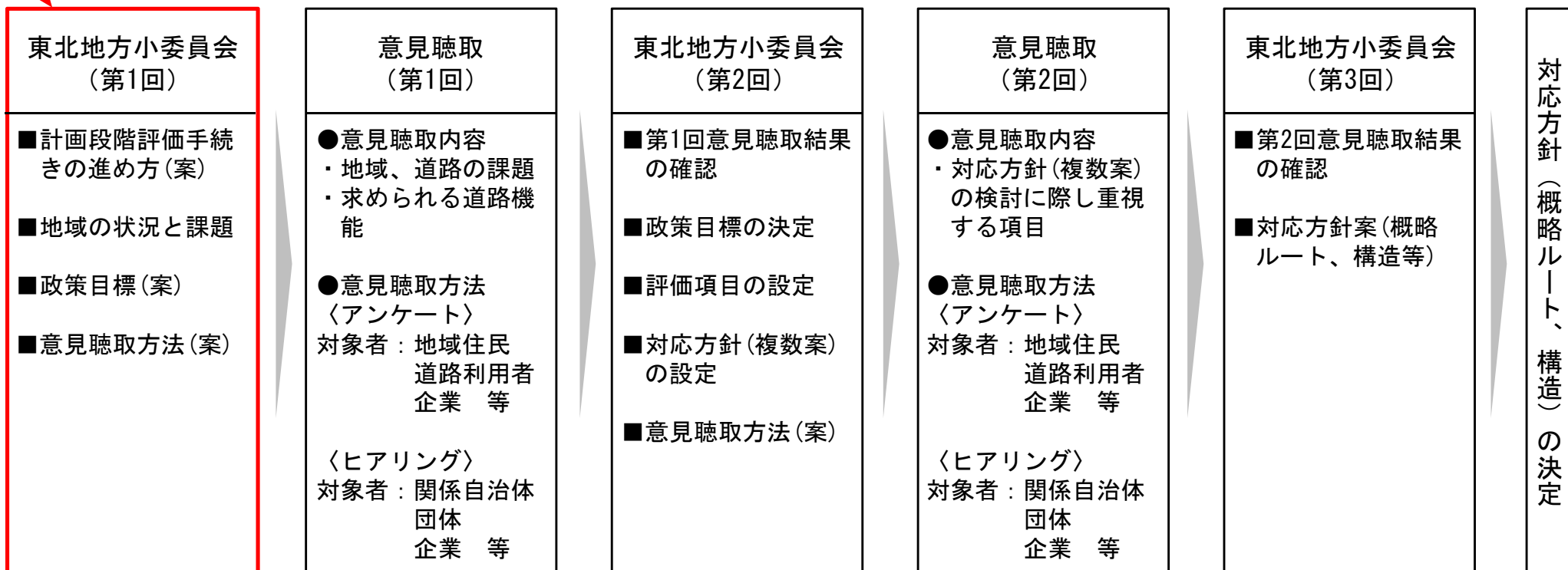


2. 計画段階評価の進め方(案)

- ◆ 計画段階評価は、東北地方小委員会を3回、意見聴取を2回。
- ◆ 第1回東北地方小委員会では、計画段階評価手続きの進め方(案)のほか、地域の状況と課題、政策目標(案)、意見聴取方法(案)等について議論。

計画段階評価

今回

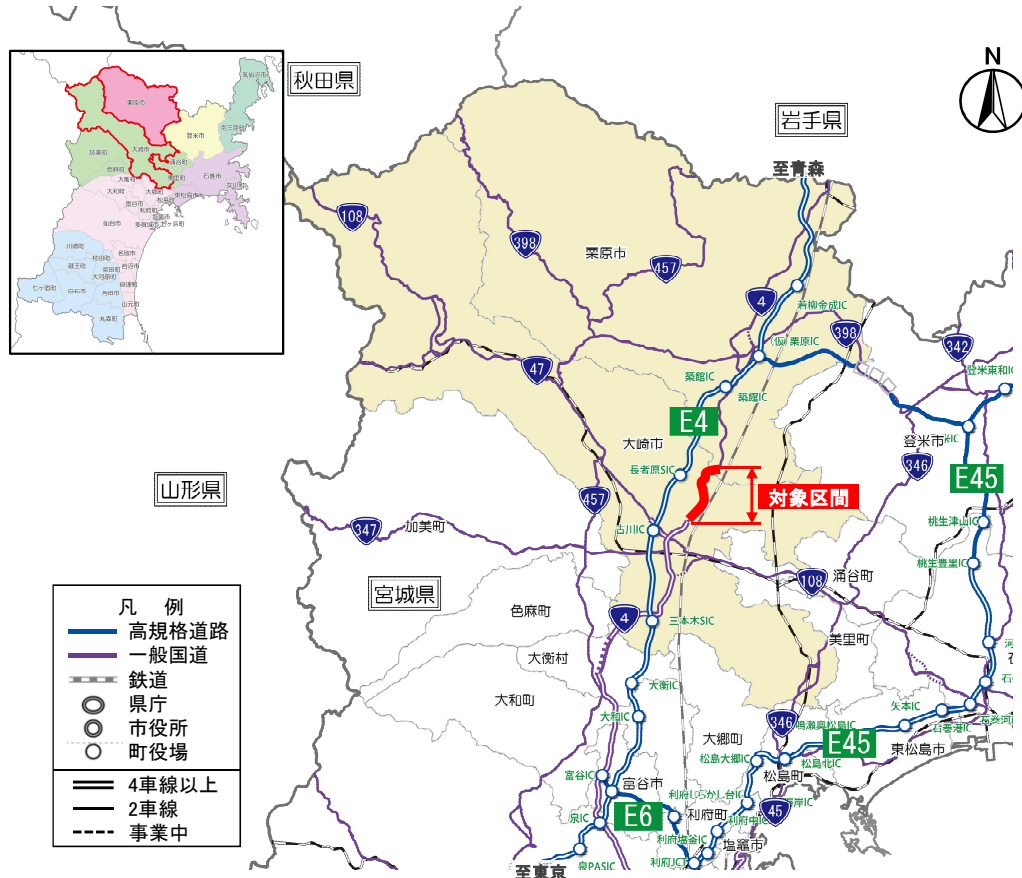


地方小委員会

3. 地域の概況（人口）

- ◆ 対象地域は、対象区間の利用が多く見込まれる大崎市、栗原市とし、人口は合計約19万人。
- ◆ 対象地域の人口減少率は県平均を上回り、25年後には約7割となる見込み（R27/R2）。
- ◆ 対象地域の生産年齢人口割合の減少や高齢化率の増加は宮城県平均を上回り、今後更なる高齢化が想定。

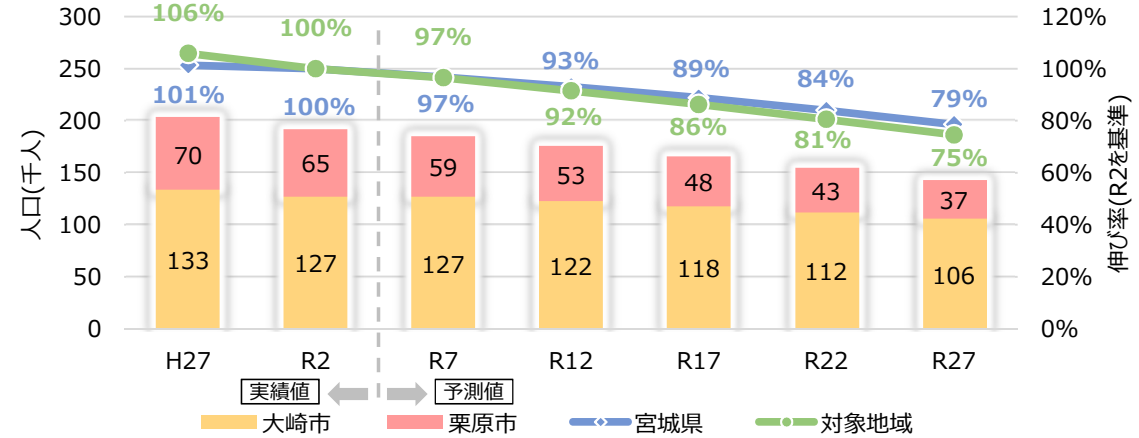
【図1】対象地域の人口



	宮城県	大崎市	栗原市	計
人口(人) (世帯数(世帯))	2,301,996 (982,523)	127,330 (48,893)	64,637 (22,697)	191,967 (71,590)
面積(km ²)	7,282	797	805	1,602
人口密度(人/km ²)	316.1	159.8	80.3	119.8

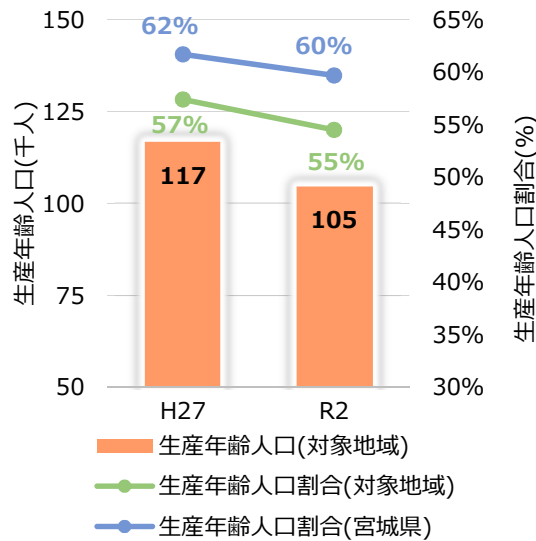
出典) R2国勢調査

【図2】対象地域の人口の推移と伸び率（令和2年を1.0とした場合）



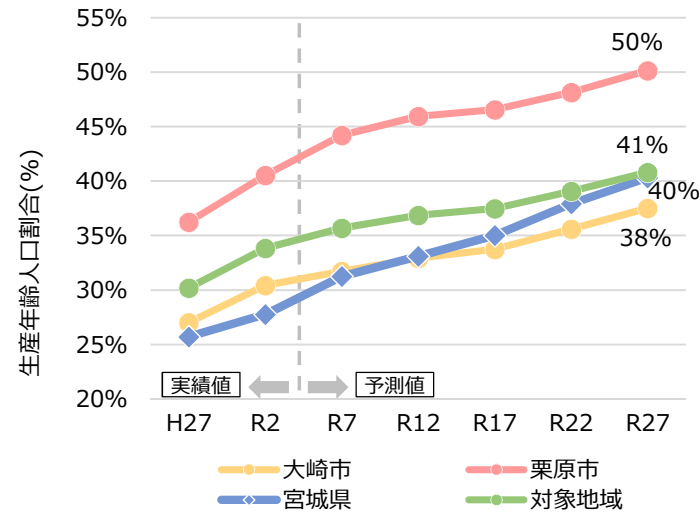
出典) 【実績値】 H27,R2国勢調査
【予測値】 日本の地域別将来推計人口（H30年3月推計）国立社会保障・人口問題研究所将来人口推計

【図3】対象地域の生産年齢人口と割合の変化



出典) H27,R2国勢調査

【図4】対象地域の高齢化率の推移

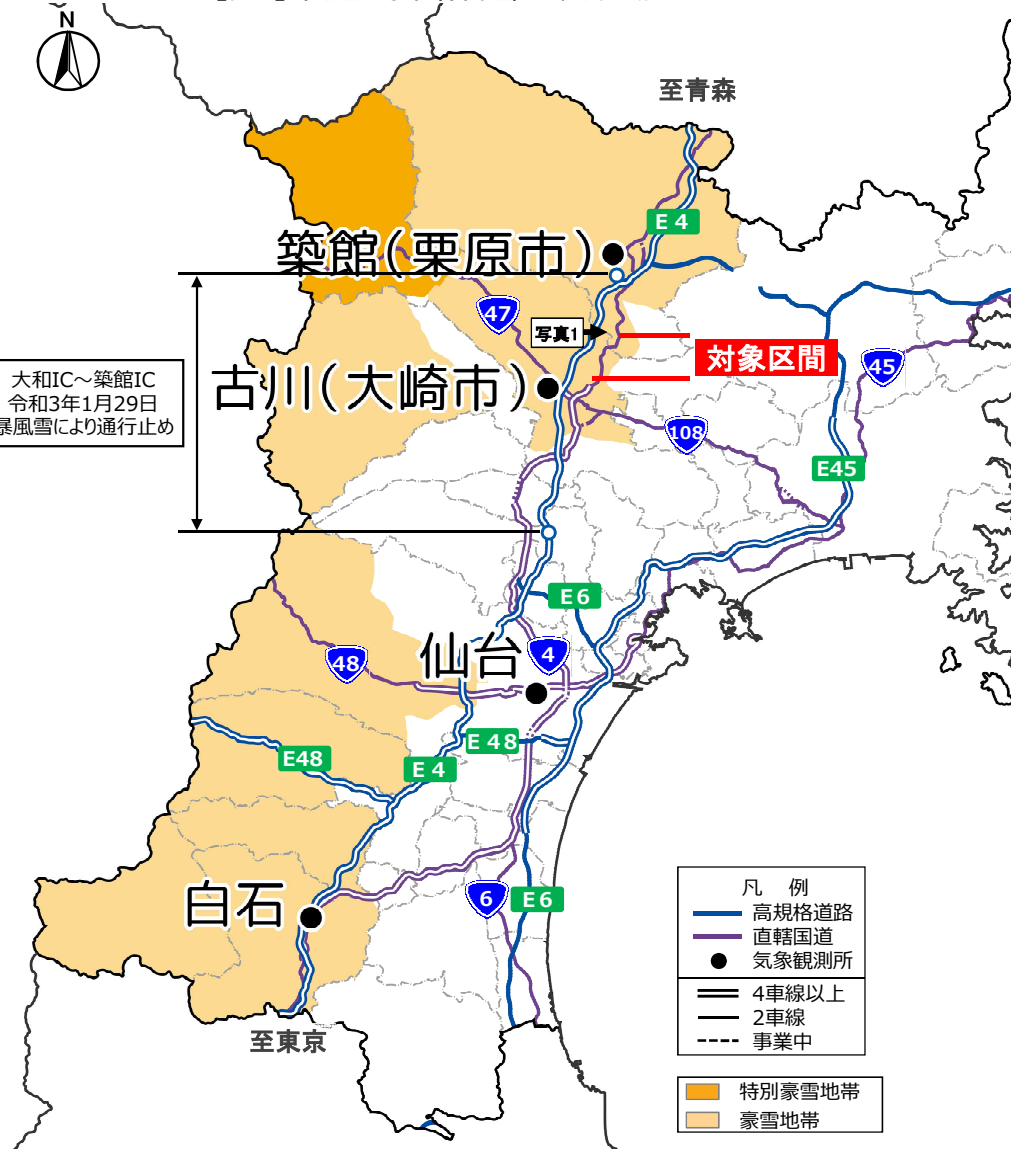


出典) 【実績値】 R2国勢調査
【予測値】 日本の地域別将来推計人口（H30年3月推計）国立社会保障・人口問題研究所将来人口推計

3. 地域の概況（気象）

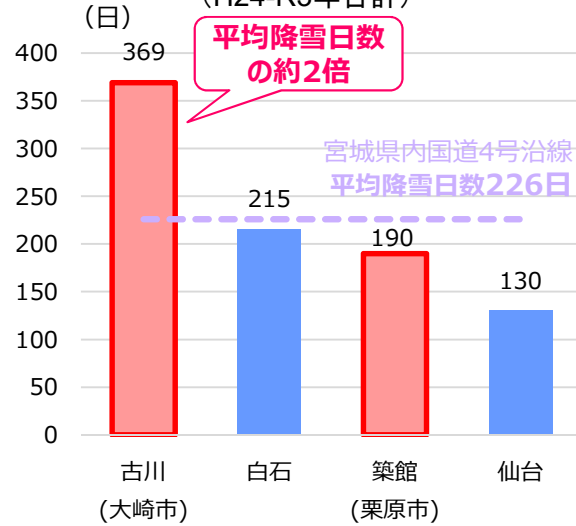
- ◆ 対象地域は豪雪地帯に指定されており、古川（大崎市）は国道4号沿線の仙台や白石より降雪日数が多く宮城県内国道4号沿線平均と比べて約2倍。
- ◆ また、降雪量は宮城県内国道4号沿線平均と比べて約2倍。

【図1】 国道4号沿線降雪量観測地点



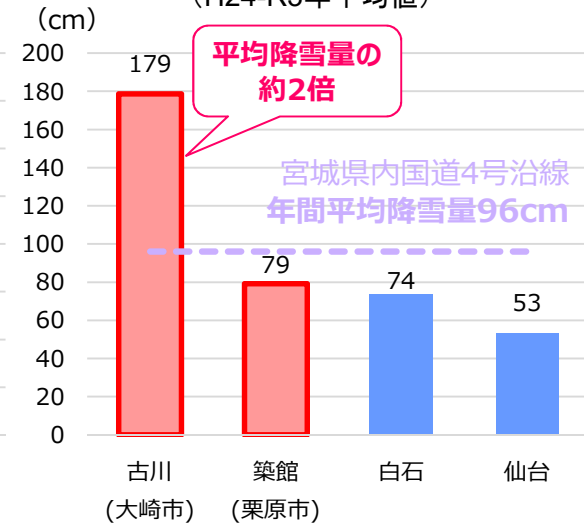
出典) 全国積雪寒冷地帯振興協議会 豪雪地帯及び特別豪雪地帯指定図

【図2】 国道4号沿線市町の降雪日数 (H24-R3年合計)



出典) 古川、白石、仙台：気象庁HP
築館：宮城県提供データ

【図3】 国道4号沿線市町の年間平均降雪量 (H24-R3年平均値)



出典) 古川、白石、仙台：気象庁HP
築館：宮城県提供データ

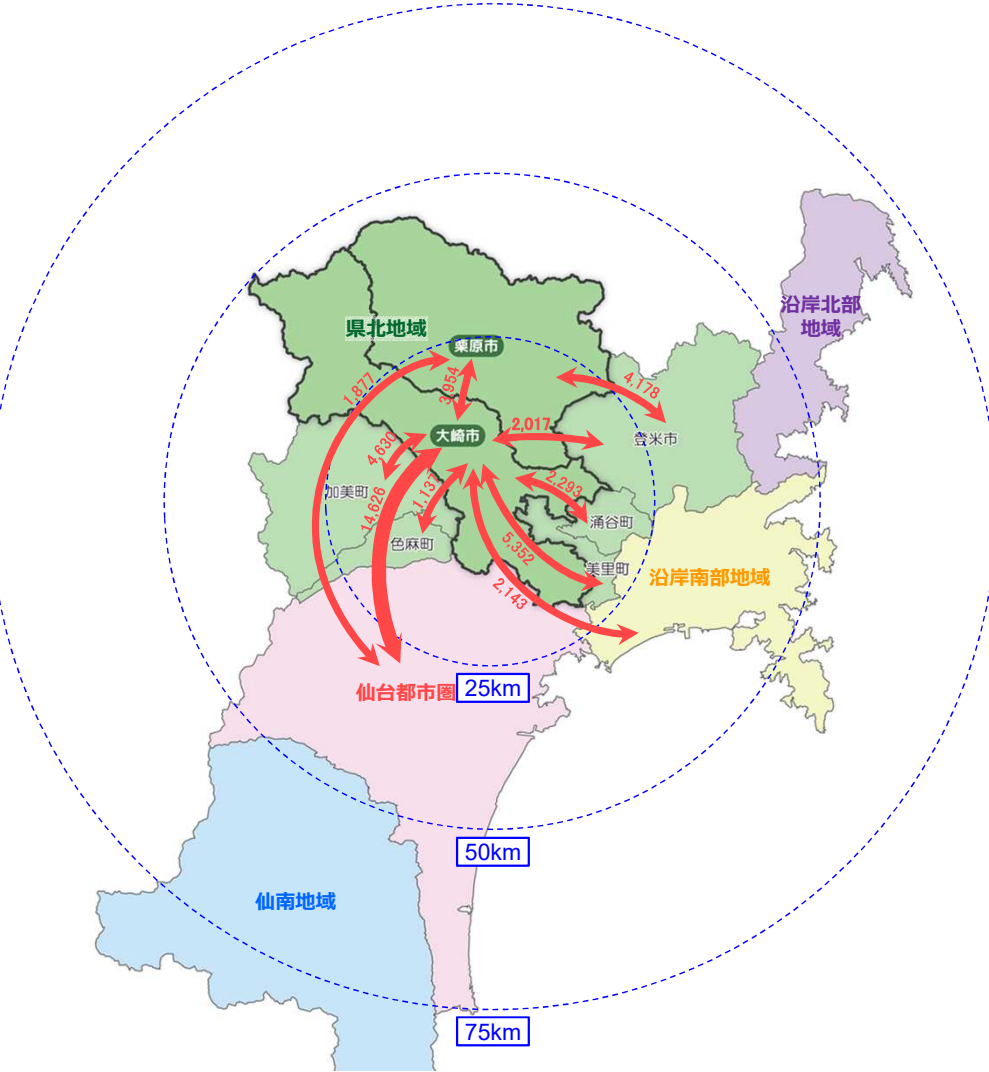
【写真1】 冬期走行時の写真



3. 地域の概況（地域間流動）

- ◆ 対象地域は、県北地域や仙台都市圏等が主な通勤・通学圏となっている。
- ◆ 1世帯当たり自家用乗用車保有台数は宮城県平均よりも高く、通勤通学時の利用交通手段は自動車が8～9割を占める。

【図1】対象地域の通勤・通学流動

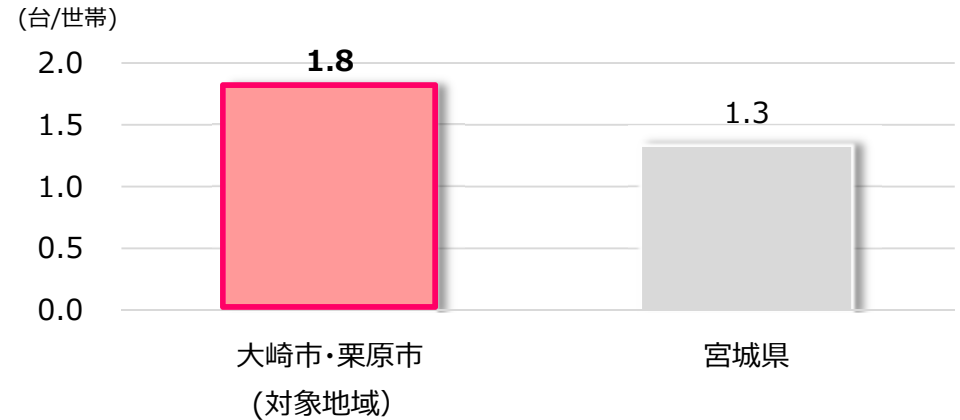


通勤・通学者数
 1,000人～
 10,000人～

※15歳以上・自市町村外通勤・通学者
 ※対象区間の利用が想定される市町村を表示
 ※1,000人以下は省略

出典) R2国勢調査

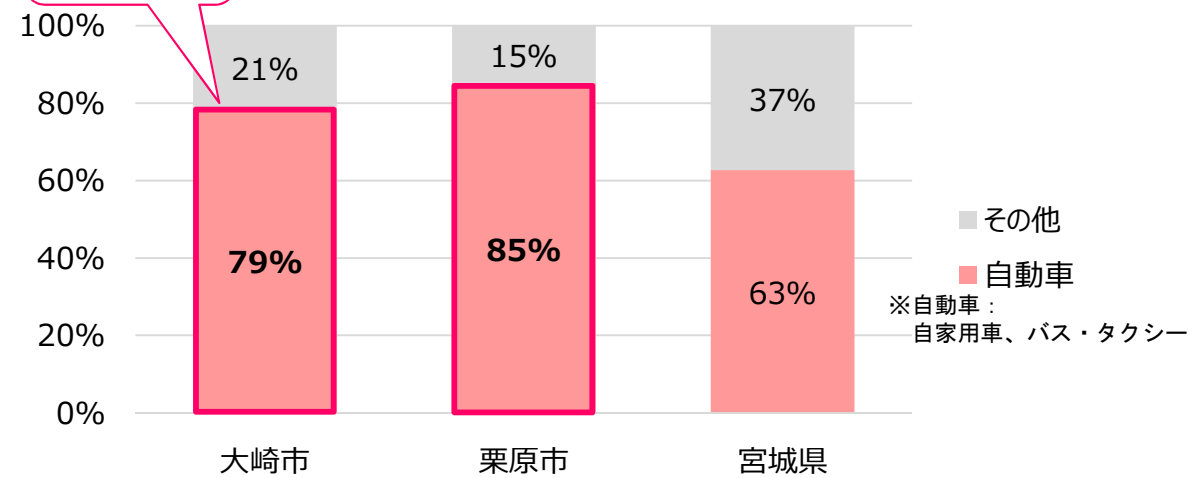
【図2】1世帯当たり自家用乗用車保有台数



出典)
 自家用乗用車数(宮城県内)：宮城県市町村別保有車両数(東北運輸局宮城運輸支局)
 世帯数：R2国勢調査

通勤・通学の
 8～9割が
 自動車利用

【図3】通勤・通学時の利用交通手段

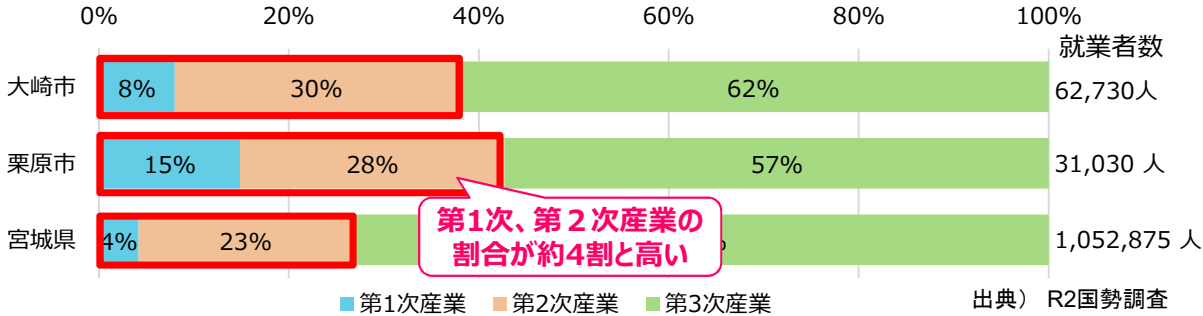


出典) R2国勢調査

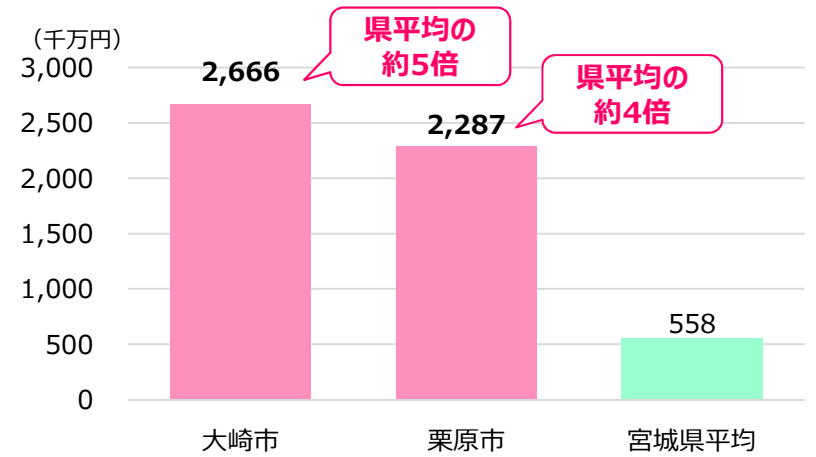
3. 地域の概況（産業）

- ◆ 対象地域の産業別就業率は宮城県平均と比較して、第1次産業と第2次産業の割合が高く、約4割を占めている。
- ◆ 農業産出額は、大崎市で宮城県平均の約5倍、栗原市は約4倍。
- ◆ 対象区間周辺には工業団地や物流・製造業企業が多数立地しており、製造品等出荷額は大崎市で電子部品・デバイス・電子回路製造業が約5割、栗原市では食料品製造業が約2割を占め、それぞれ最も高い割合。

【図1】対象地域の産業構造（就業者数割合）



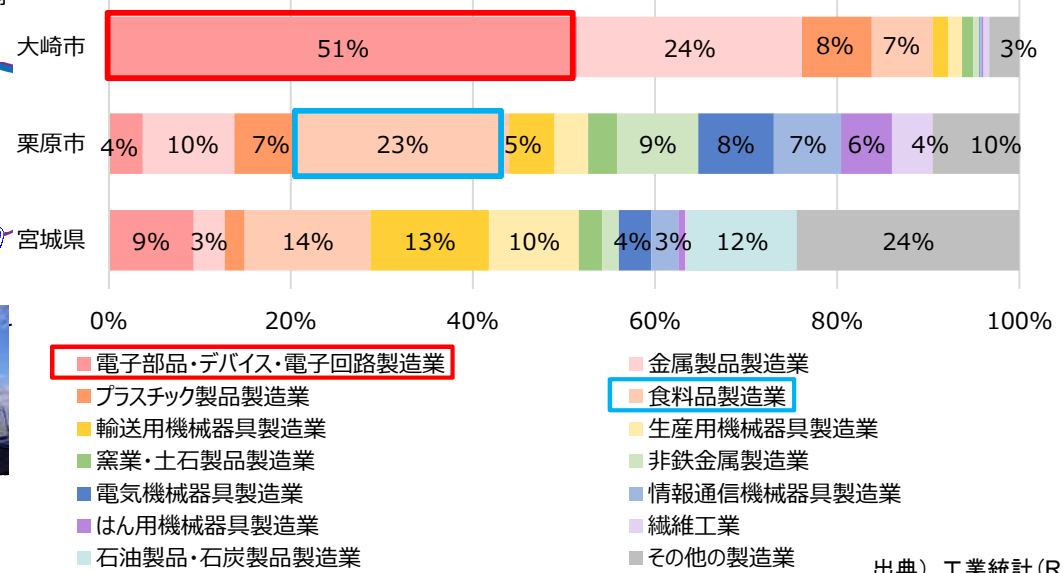
【図2】大崎市・栗原市の農業産出額



【図3】工業団地・主要企業位置図



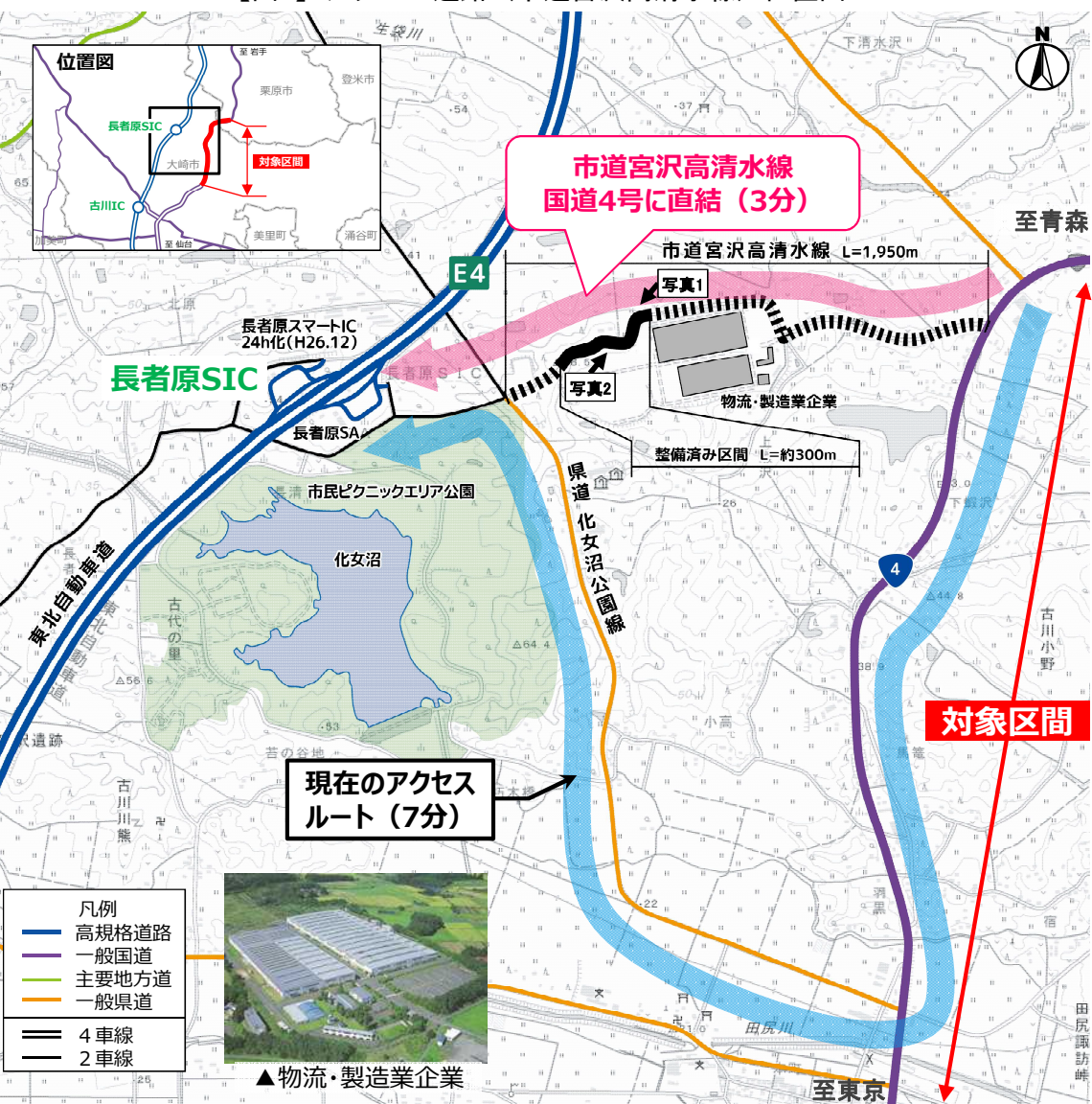
【図4】大崎市・栗原市の製造品等出荷額の内訳（R1）



3. 地域の概況（関連事業）

- ◆ 対象区間に隣接する長者原スマートICは、産業支援をはじめとする地域振興を目的に平成18年に本格運用を開始。
- ◆ 大崎市は都市計画マスタープランで「県北部の交通拠点としての機能強化に向け、東北道や国道4号ほかを交通軸とした交通網の整備を促進する」としており、平成29年度から対象区間とスマートICを繋ぐアクセス道路を事業中。

【図1】アクセス道路（市道宮沢高清水線）位置図



【写真1】整備済み区間（着手前）



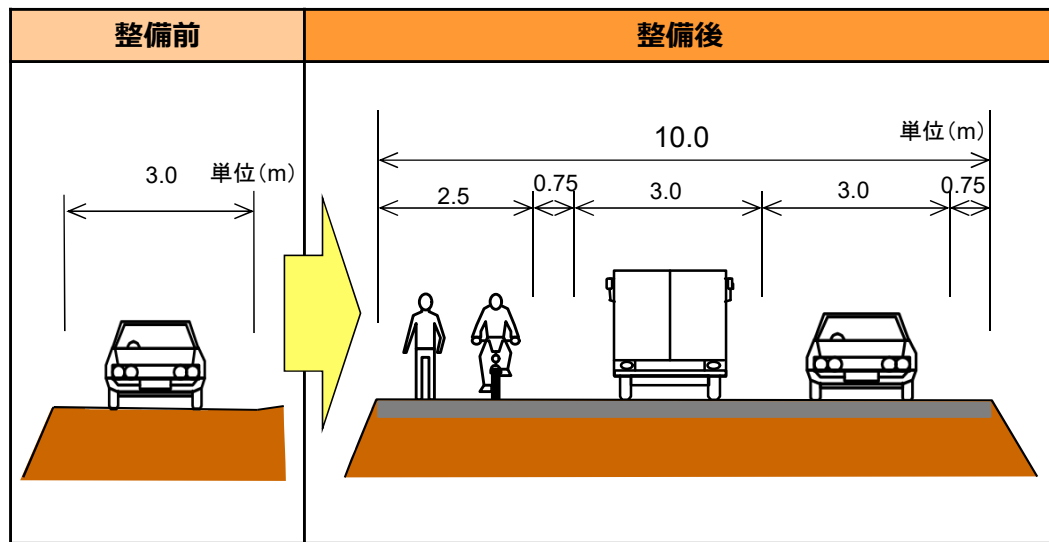
出典）大崎市資料

【写真2】整備済み区間



出典）大崎市資料

【図2】アクセス道路（市道宮沢高清水線）横断面図整備前後

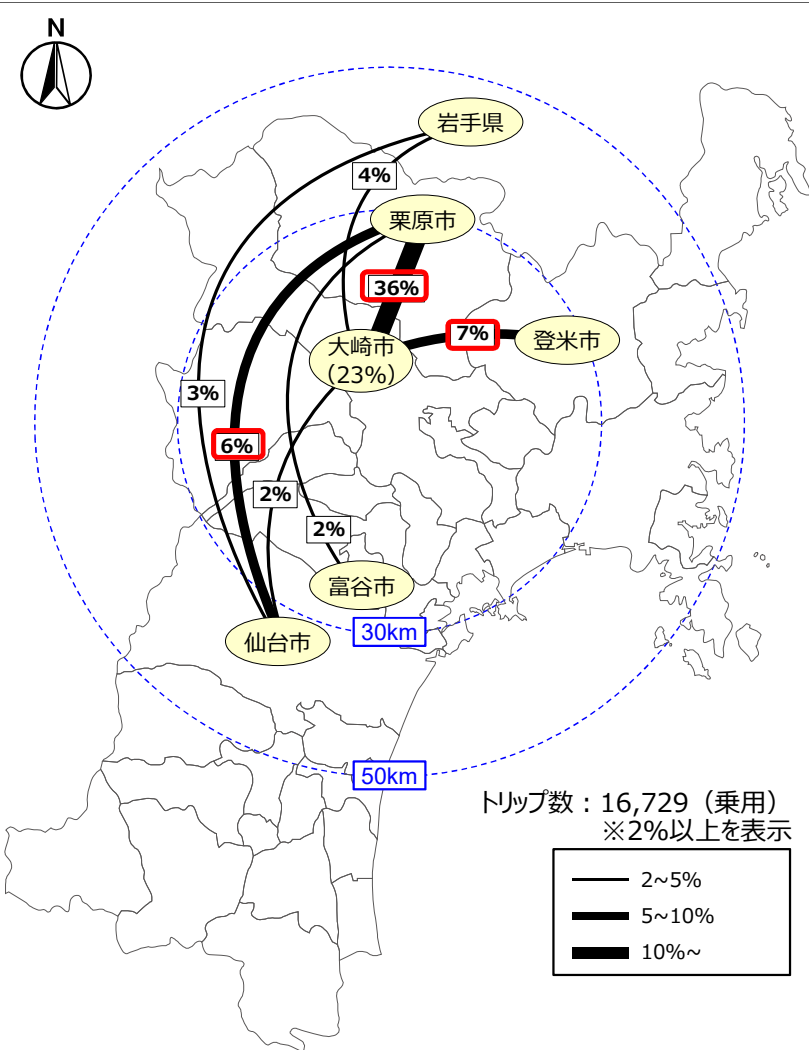


出典）地理院地図を加工して作成、所要時間はH27道路交通センサスより（市道宮沢高清水線は40km/hで設定）

3. 地域の概況（交通特性）

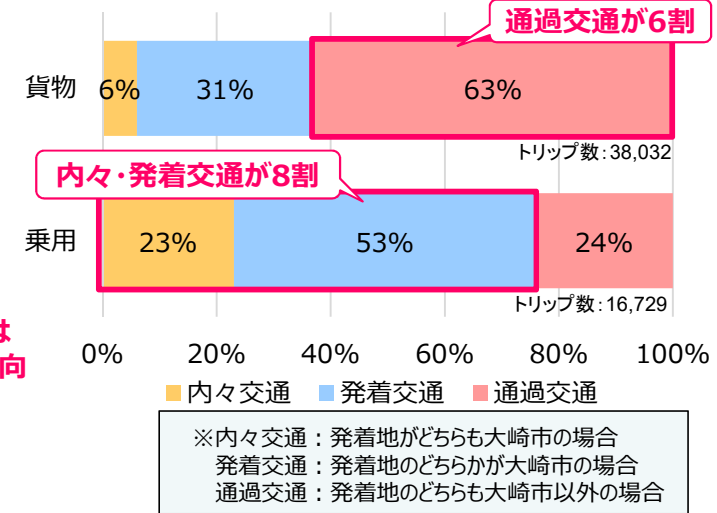
- ◆ 対象区間は、主要幹線道路として県を跨ぐ移動や県北地域間（大崎・栗原・登米）の移動にとって重要な区間となっており、主要OD量は近年増加傾向にある。
- ◆ 対象区間を利用する貨物車は、通過交通が6割を占め、トリップ長は50km以上が7割を占める。
- ◆ 一方、乗用車は内々・発着交通が8割を占め、トリップ長は30km未満が6割を占める。

【図1】対象区間の乗用車のOD内訳



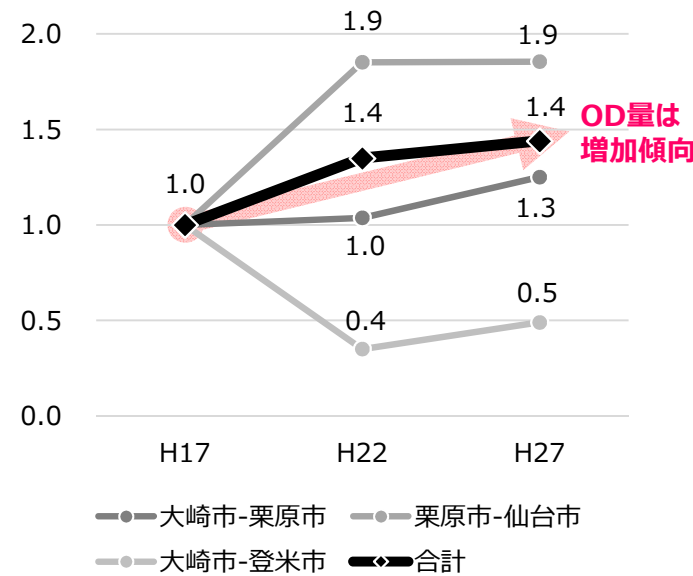
出典）ETC2.0プローブデータ（R3年10月）

【図3】交通の内訳



出典）ETC2.0プローブデータ（R3年10月）

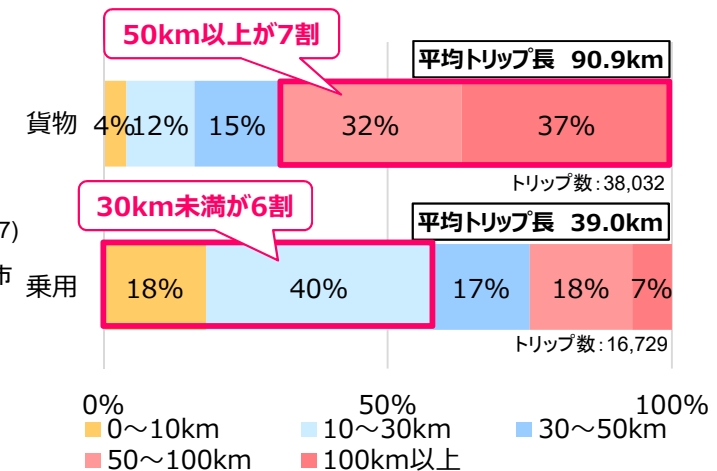
【図2】主要OD量の伸び率（H17を1.0とした場合）



出典）道路交通センサスOD集計用マスターデータ（H17,H22,H27）

※合計は、大崎市-栗原市、栗原市-仙台市、大崎市-登米市の合計

【図4】平均トリップ長



出典）ETC2.0プローブデータ（R3年10月）

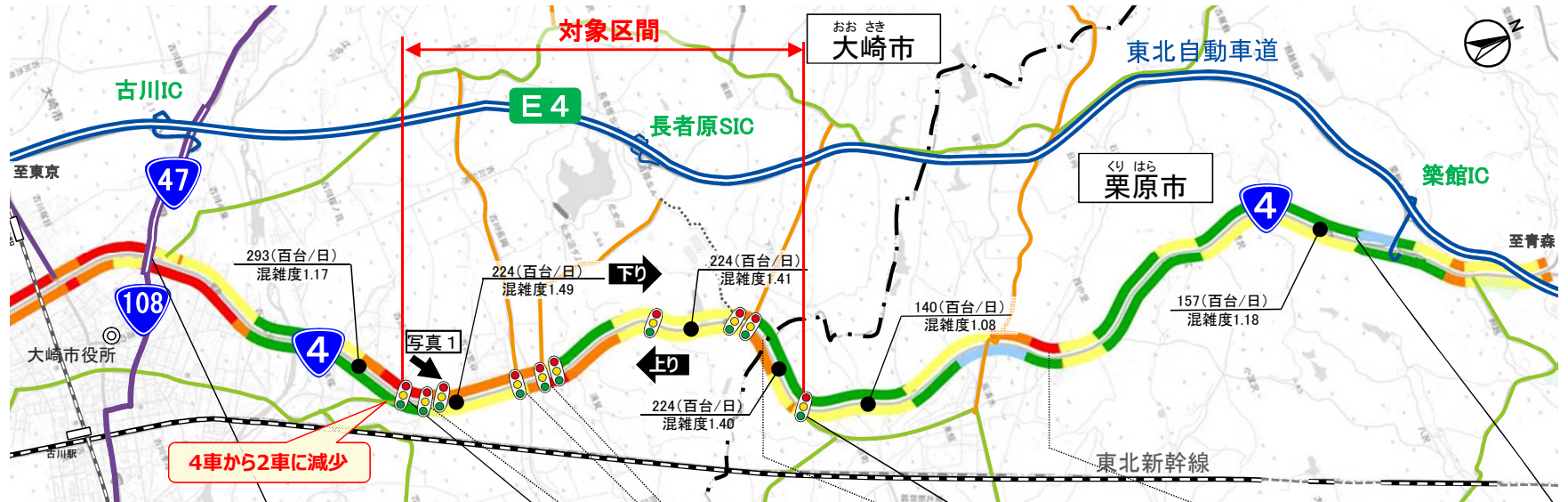
4. 道路交通・地域の状況と課題 (道路の信頼性① 冬期)

- ◆ 対象区間は2車線で224百台/日の交通が集中し、混雑度は1.49~1.40と県内国道4号2車線区間で第1位。
- ◆ 旅行速度は4車線から2車線となる箇所通常期約28km/hが、冬期は約17km/hと約4割の速度低下が発生。

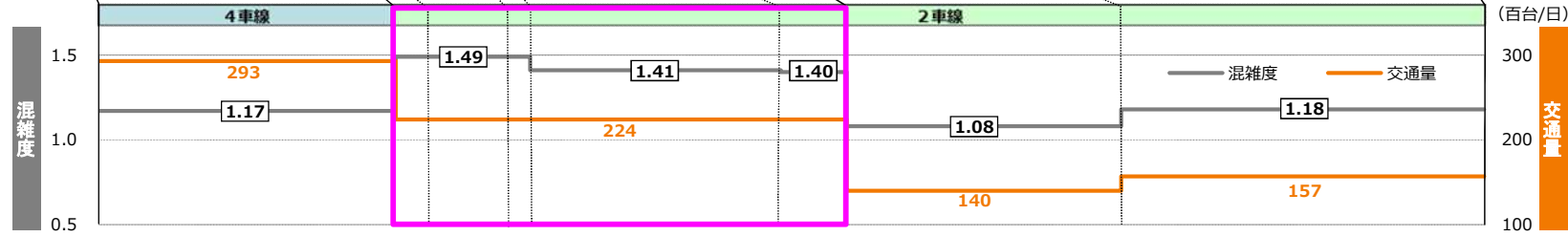
【図1】 国道4号対象区間の冬期旅行速度 (ピーク時間帯 7時台)

凡 例	
	高規格道路(4車線)
	高規格道路(2車線)
	一般国道(4車線)
	一般国道(2車線)
	主要地方道
	一般県道
	市道(整備中)
	市町村境界線
	市役所
	交通量・混雑度

凡 例	
	20km/h未満
	30km/h未満
	40km/h未満
	50km/h未満
	50km/h以上

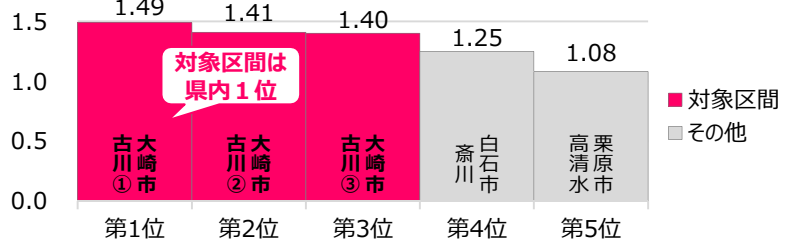


【写真1】 混雑状況



出典) 【速度】 ETC2.0プローブデータ(冬期: R3.12~R4.2 (降雪日のみ抽出)), 【交通量】 R3交通量調査結果、地理院地図を加工して作成

【図2】 県内国道4号※の混雑度



※県内国道4号2車線区間 (事業中区間除く) で集計

出典) R3交通量調査結果

【図3】 4車線から2車線になる箇所(下り)の旅行速度

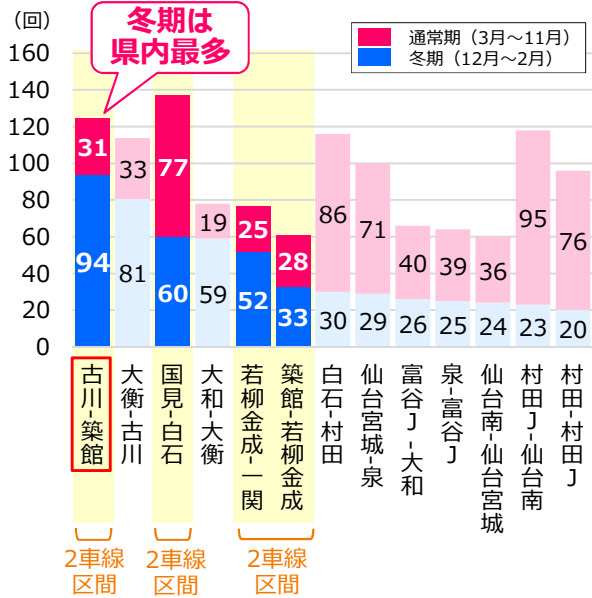


出典) ETC2.0プローブデータ (通常期: R3.9~11、冬期: R3.12~R4.2 (降雪日のみ抽出))

4. 道路交通・地域の状況と課題（道路の信頼性② 東北道通行止め時） 11

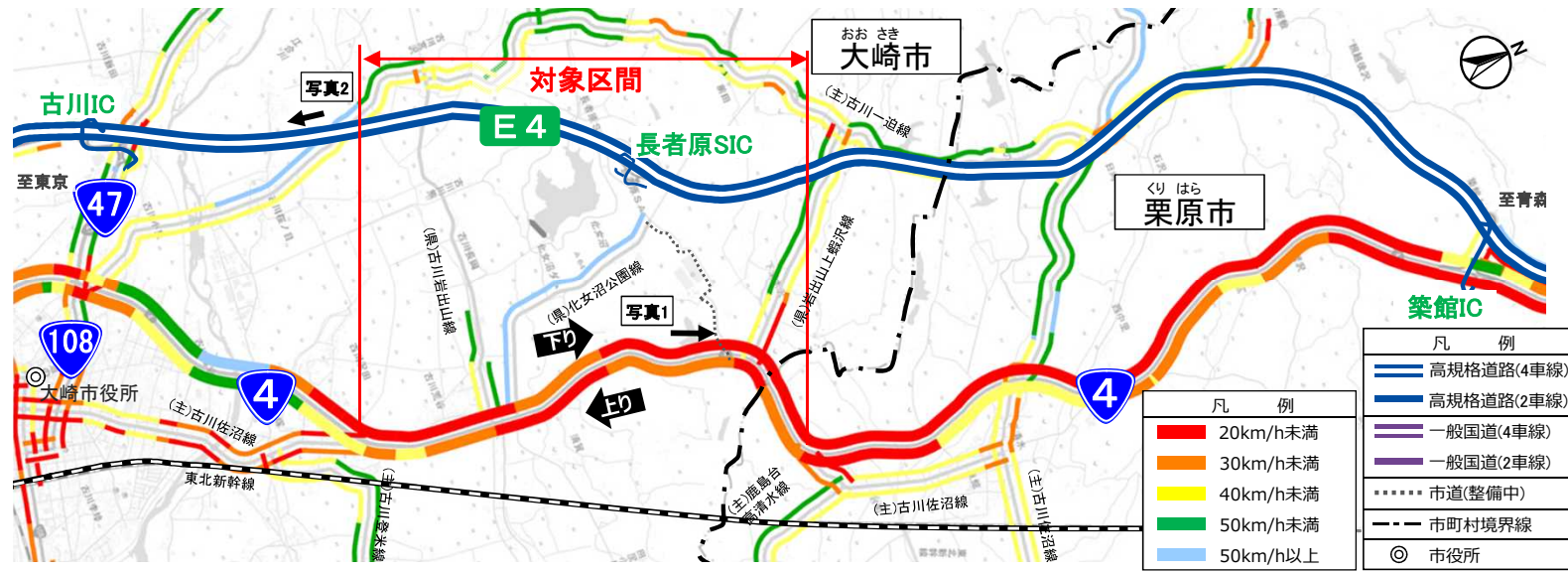
- ◆ 並行する東北道（古川IC～築館IC間）では、大雪や吹雪（視界不良）等による冬期通行止め回数が県内で最も多い。
- ◆ 東北道の通行止め時は国道4号に交通が集中し、対象区間下り線においては8割が20km/h未満に速度低下。

【図1】東北道IC間別通行止め発生回数



出典) NEXCO資料 (H24～R3)

【図2】令和3年大雪時 東北道通行止め時間帯における対象区間と周辺の旅行速度 (R3年1/29 20時台)
※東北道の通行止め時間帯 大衡IC～築館IC R3年1/29 15:52～1/30 16:00



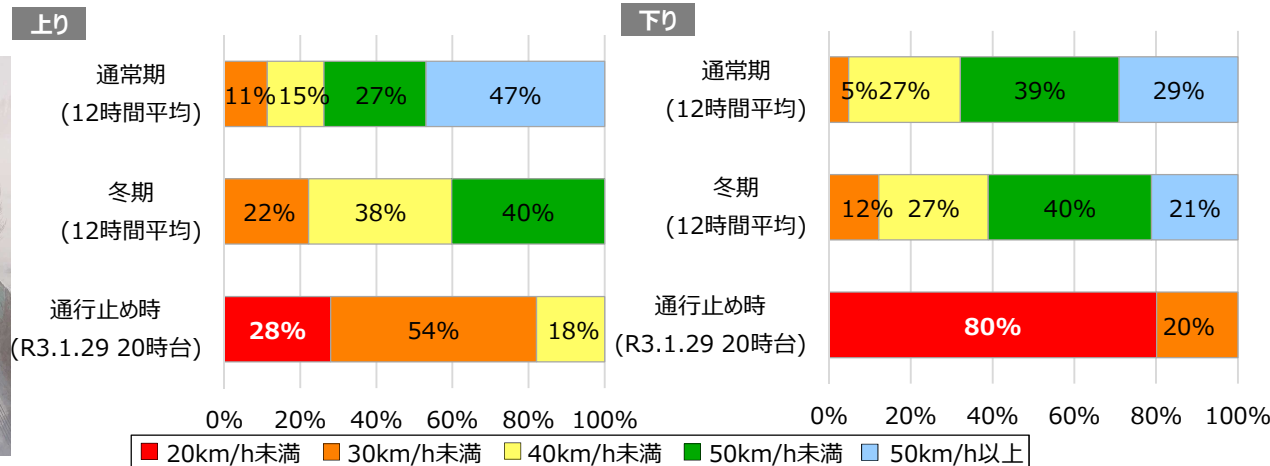
出典) 【速度】ETC2.0プローブデータ(通行止め時: R3.1.29 (20時台)), 地理院地図を加工して作成

【写真1】大雪による東北道通行止め時の対象区間の渋滞状況 (R3.1.29) 【写真2】東北道視界不良により発生した事故の状況 (R3.1.19)



出典) 【写真】国道4号 古川小野 CCTV、NEXCO資料

【図3】対象区間の旅行速度構成比



出典) ETC2.0プローブデータ(通常期: R3.9～11、冬期: R3.12～R4.2 (降雪日のみ抽出)、通行止め時: R3.1.29 (20時台))

4. 道路交通・地域の状況と課題（道路の信頼性③ 東北道通行止め時） 12

- ◆ 令和4年7月15日から16日にかけて宮城県北部を中心に大雨が発生。
- ◆ 東北道において通行止めが発生し、対象区間下り線の全区間において旅行速度が20km/h未満に低下。

【図2】 令和4年豪雨災害時 東北道通行止め時間帯における対象区間の旅行速度（R4年7/16 11時台）
 ※通行止め時間 古川IC～築館IC R4年 7/16 2:45～7/16 13:35

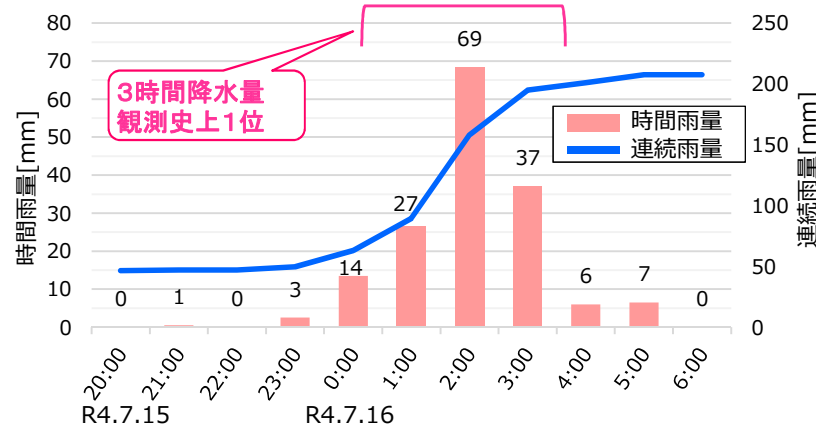


出典) 【速度】 ETC2.0プローブデータ(通行止め時：R4.7.16 (11時台))、地理院地図を加工して作成

【写真1】 対象区間混雑状況 (R4.7.16) 至青森

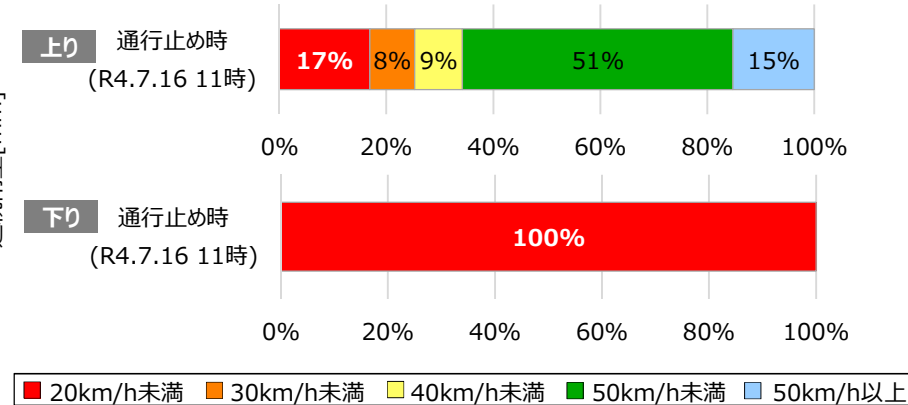


【図1】 令和4年7月豪雨時の大崎市古川時間雨量



出典) 気象庁HPデータを元に作成

【図3】 対象区間の旅行速度構成比

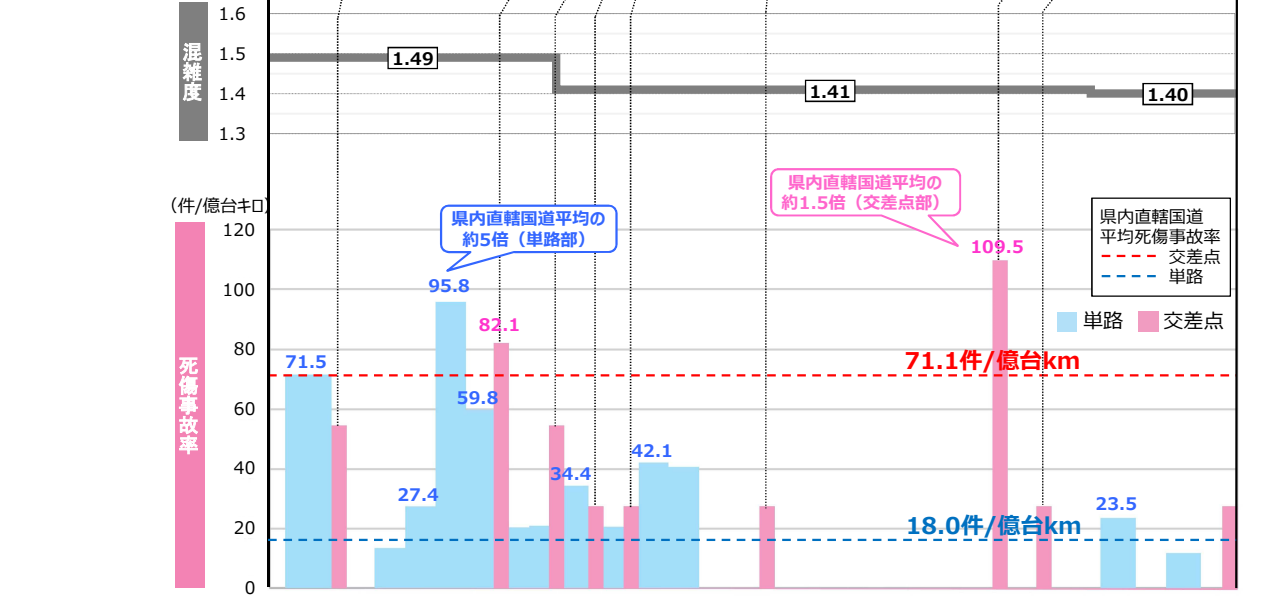


出典) ETC2.0プローブデータ(通行止め時：R4.7.16 (11時台))

4. 道路交通・地域の状況と課題（事故）

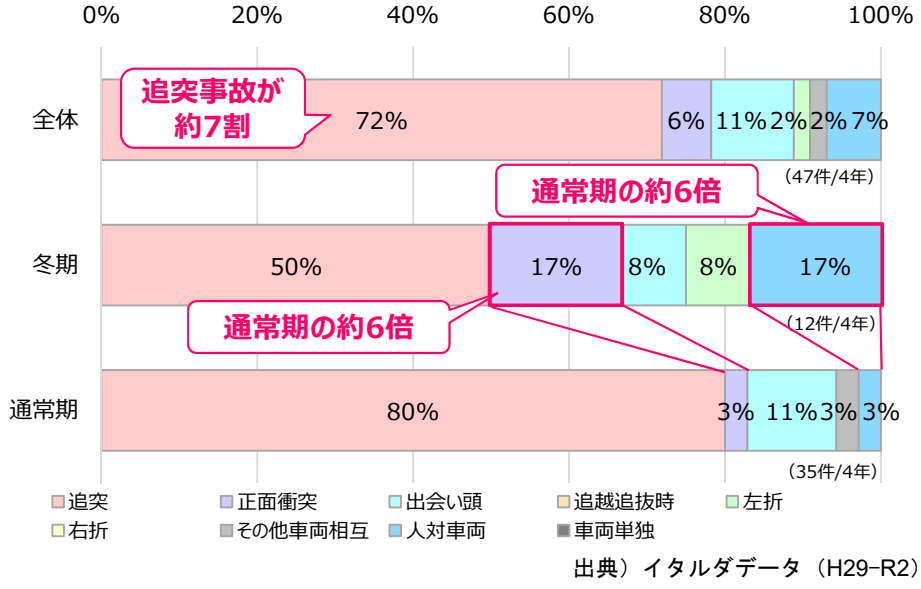
- ◆ 対象区間では死傷事故率が高い交差点や、県内直轄国道平均の約5倍となる単路区間が存在。
- ◆ 交通混雑時の前方不注意等による追突事故が全体の約7割を占め、特に、冬期は正面衝突等の発生割合が増加。

【図1】 事故発生状況（H29～R2）



出典) イタルダデータ (H29-R2)、地理院地図を加工して作成

【図2】 死傷事故類型別発生割合（H29～R2）



出典) イタルダデータ (H29-R2)

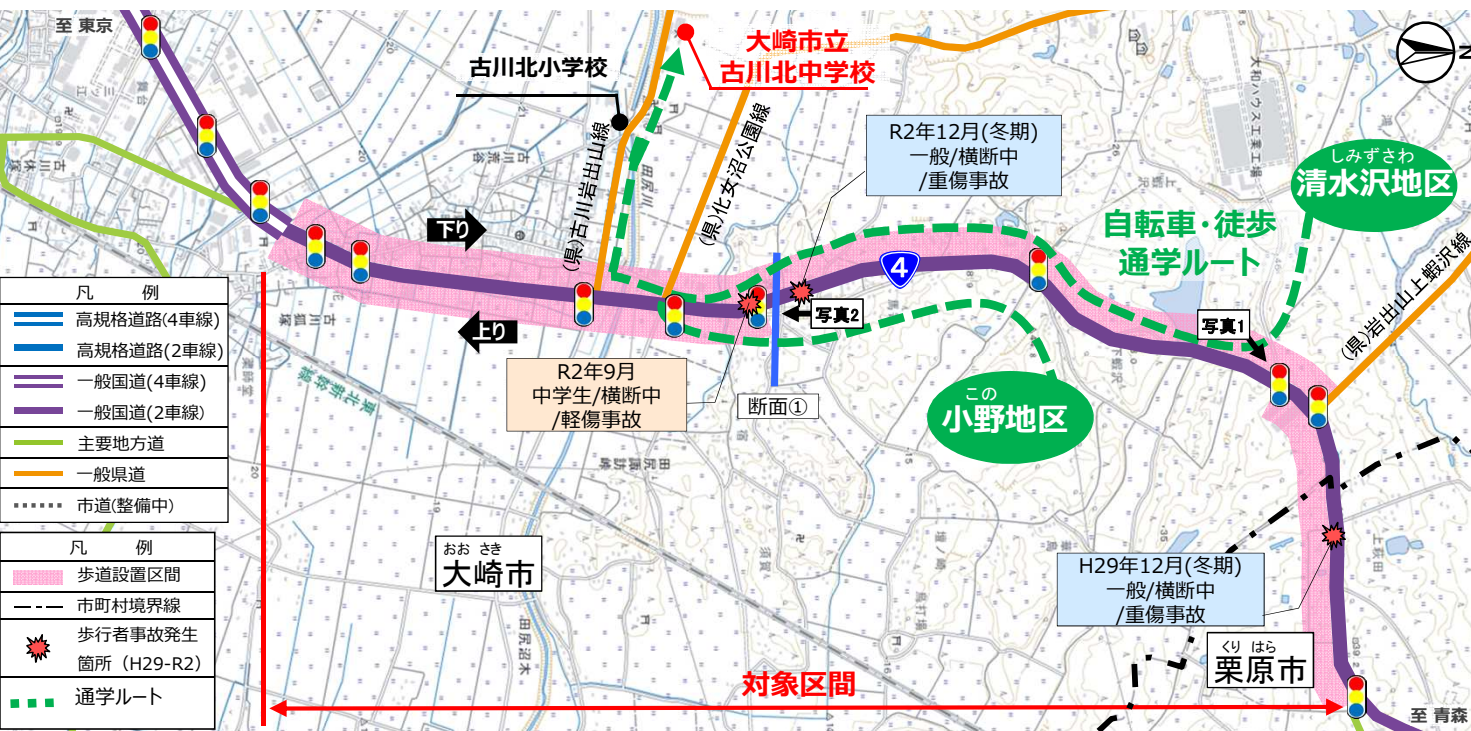
【写真1】 混雑状況



4. 道路交通・地域の状況と課題（歩行環境）

- ◆ 対象区間の歩道は下り線に一連で整備されており、一部区間が通学路として自転車・徒歩の移動ルートになっている。
- ◆ 片側に歩道がない箇所などで横断中の歩行者事故が発生。

【図1】対象区間の歩道設置状況と通学ルートの例



【写真1】歩道未設置区間における自転車走行状況



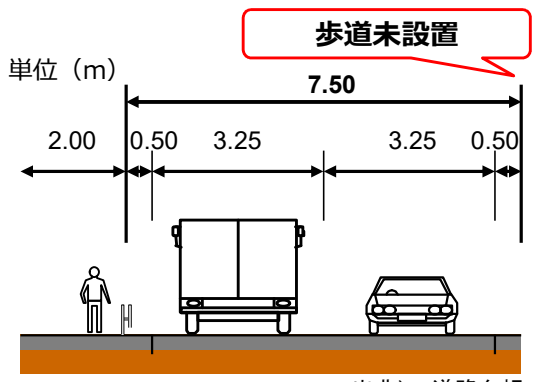
地域の声

- 歩道が無い区間があり裏道に遠回りしている、**両側に歩道があれば、国道4号を迂回せず通学できる。**

出典) R4大崎市内中学校ヒアリング

出典) 歩行者事故：イタルダデータ (H29-R2)、歩道のある区間：道路台帳、通学路：大崎市資料、地理院地図を加工して作成

【図2】横断面図 (断面①)



出典) 道路台帳

【写真2】歩道未設置区間の歩行者利用状況



歩道未設置

物流会社の声

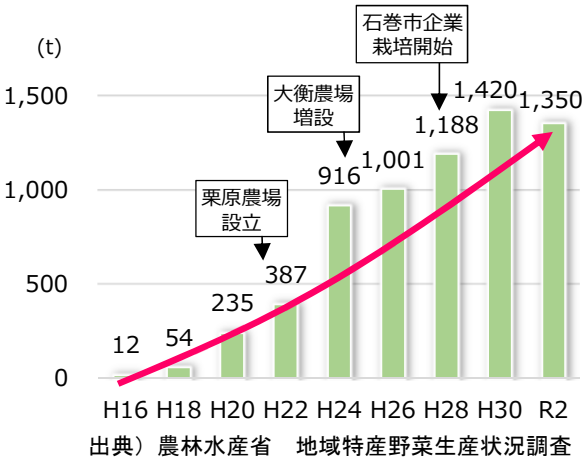
- 自転車が**歩道のない区間を走行している**場合があり、**車両と接触の危険**がある。

出典) R4物流企業ヒアリング

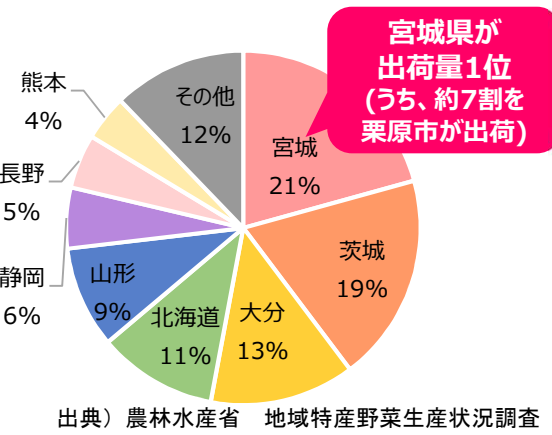
4. 道路交通・地域の状況と課題（産業・物流① 野菜）

- ◆ パプリカの生育に適している宮城県では大規模農場が相次いで整備され出荷量が年々増加し、平成24年度には生産量が全国1位。
- ◆ 宮城県はさらなる県産パプリカのブランド力向上を目指したプロジェクトを令和3年から展開中。
- ◆ パプリカの集荷時と出荷時の輸送ルートとして国道4号対象区間及び長者原スマートICを毎日利用しており、対象区間の混雑により輸送時間及びドライバー拘束時間が増加。

【図1】 宮城県パプリカ出荷量推移



【図3】 パプリカ出荷量の都道府県別割合 (R2)



【図5】 パプリカ輸送状況の例 (輸送ルート)



【図2】 スマート農業実証プロジェクト (R3-R4)

実証課題名	パプリカスマート商流実現と他社間連携による安定出荷体制の構築
構成員	宮城県、栗原市、栗原市・石巻市の生産企業、宮城大学等
プロジェクトの方針	構成員一丸となって宮城県産パプリカのブランド力を向上させると共に、消費者ニーズにも対応した販売体制を確立

【図4】 パプリカ生産企業の事例 (輸送体系)



企業の声

- ・ 長者原スマートICまでのルートが道幅が狭く上り坂となっており、天候が悪い日は国道4号を經由して古川ICを利用している。
- ・ 仙台方面に毎日朝の時間帯の渋滞を避けるために、6時頃に出発している。渋滞が解消すればドライバーの出発時間を遅らせて拘束時間を減らすことができる。
- ・ 令和3年の東北道通行止め時は、国道4号の渋滞で時間が読めなくなったため、三陸道の方から石巻を經由して大きく迂回せざるを得なかった。

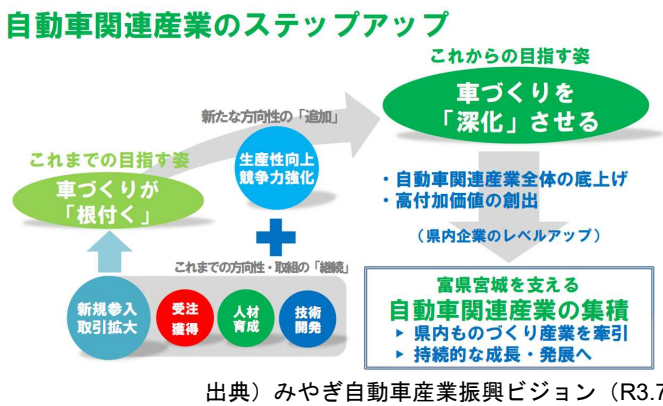
出典) R4.8パプリカ生産企業・物流企業ヒアリング



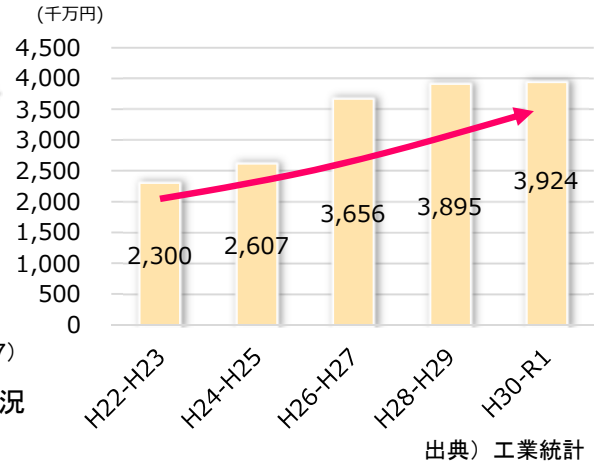
出典) 東北農政局 スマート農業実証プログラムより作成

- ◆ 宮城県では、自動車関連産業の集積を目指しており、対象区間を含む国道4号周辺にも自動車関連の製造企業が立地し、対象地域の関連する電子部品・デバイス・電子回路製造業の出荷額が近年増加傾向。
- ◆ 電気自動車の部品製造を行うメーカーでは、製品の出荷時の輸送に対象区間を毎日利用。
- ◆ 対象区間は、朝・夕ピーク時や東北道通行止め時の渋滞により安定的な輸送が出来ない状況。

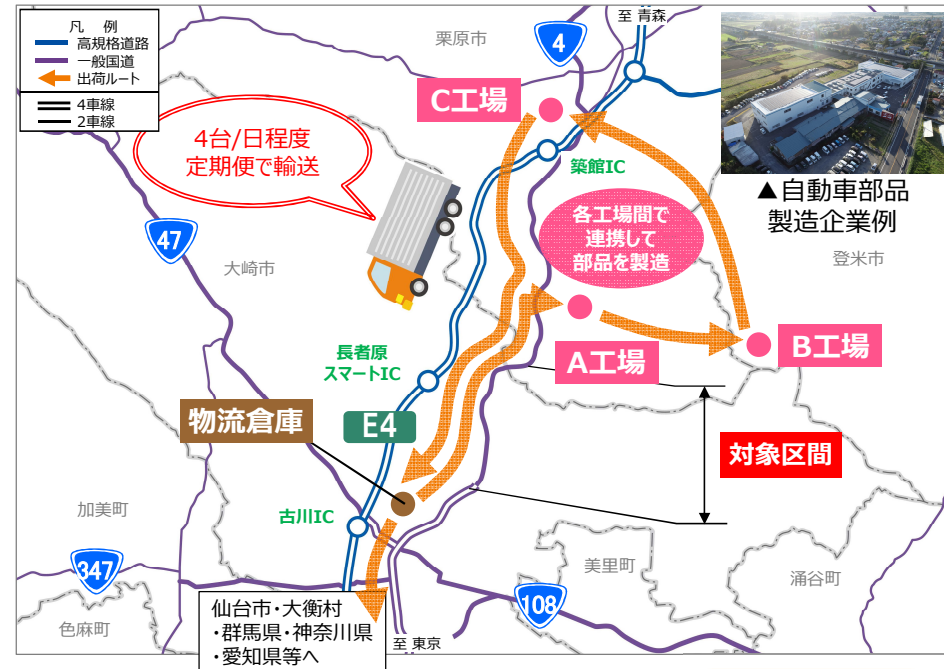
【図1】 宮城の自動車関連産業の目指す姿



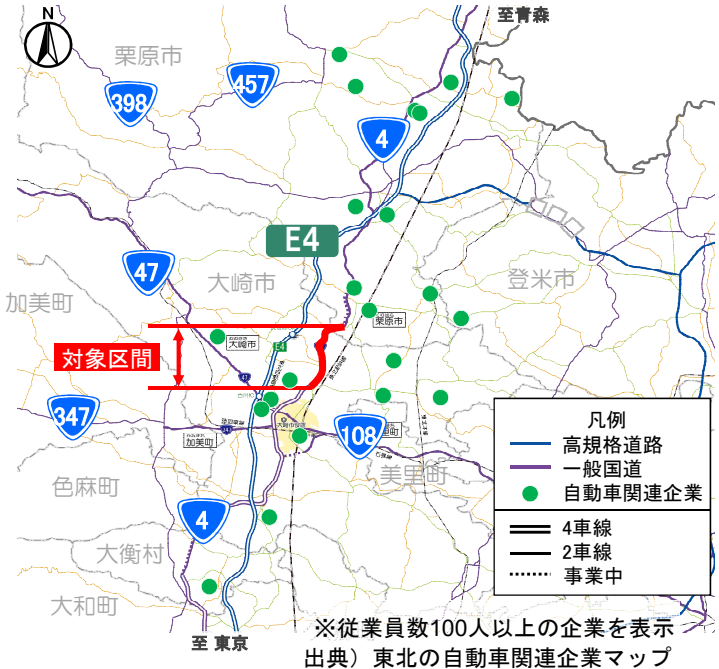
【図3】 対象地域出荷額推移 (電子部品・デバイス・電子回路製造業)



【図4】 自動車部品製造工場輸送状況例



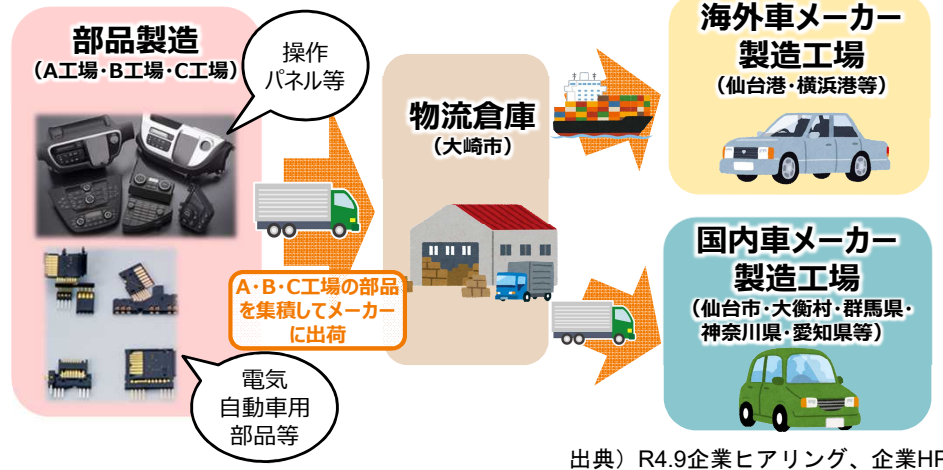
【図2】 対象区間周辺の自動車関連製造企業の立地状況



企業の声

- 4車線から2車線になるところは朝・夕に渋滞しており、混雑時間帯は迂回するか、輸送時間をずらして対策している。
- 令和3年の東北道での多重事故による通行止め時に国道4号が渋滞し、ジャストインタイムで出荷できずに困った。
- 多重事故発生以来、東北道が止まりやすくなり、決まった時間での輸送ができなくなった。

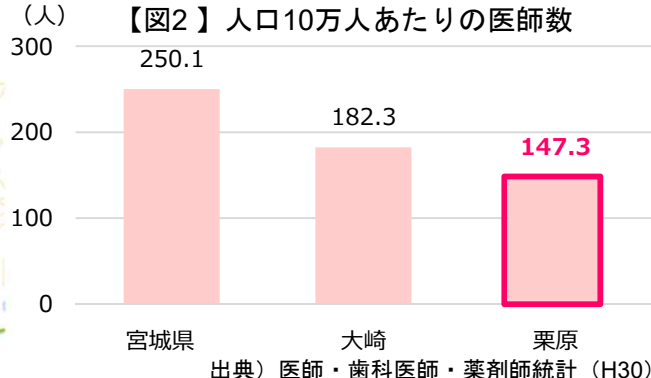
出典) R4.9企業・物流企業ヒアリング



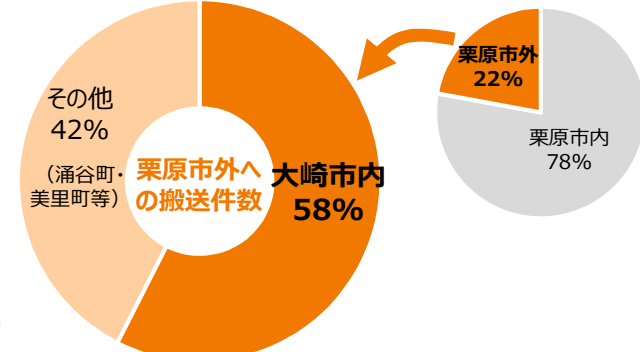
4. 道路交通・地域の状況と課題（救急医療）

- ◆ 栗原市では医師数が少ないことや専門医の不在等から医療圏を跨いで救急搬送を行っており、医療圏を跨ぐ搬送のうち約6割が大崎市内に搬送されている。
- ◆ 栗原市や大崎市の荒谷地区等からの救急搬送では、対象区間や東北道が利用されているが、対象区間の搬送では2車線で交通量が多く救急車が搬送しづらい状況。

【図1】対象区間を通行する救急搬送の状況

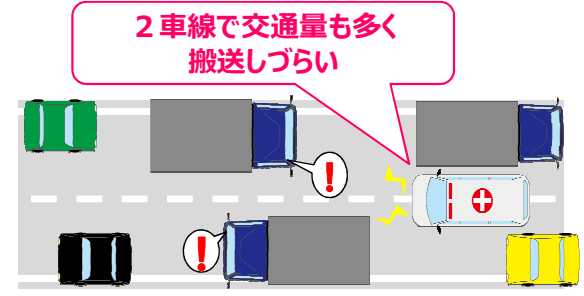


【図3】栗原医療圏から栗原市外への救急搬送割合 (R3)



出典) 栗原市消防年報 (R4)、R4.9消防署ヒアリング

【図4】救急搬送時の問題点



大崎市・栗原市の消防本部の声

- ・ 栗原市から救急搬送する際に、**栗原市にある二次医療機関では脳外科・泌尿器科・精神科・産婦人科(分娩)の専門医不在等により処置困難の場合に、三次医療機関である大崎市民病院に医療圏を跨いで搬送している。**
- ・ 国道4号は大型車が多く、路側帯も狭く緊急車両を譲るスペースもないため、**反対車線にはみ出して追い越す際には慎重に走行**している。
- ・ **対象区間は2車線のため、時間帯によっては毎日混雑しており、特に東北道が通行止めになった際に、対象区間は渋滞し救急車以外にも緊急車両の走行に危険と時間を要する。**

出典) R4.3消防署ヒアリング

出典) R4.3消防署ヒアリング、地理院地図を加工して作成

	課題	原因
道路の信頼性	<p>○脆弱なダブルネットワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> 混雑度が約1.49と県内国道4号2車線区間で1位 冬期は4車線から2車線になる箇所等で20km/h未満に速度低下 東北道通行止め時には、対象区間の8割が20km/h未満に速度低下 	○交通容量不足
事故	<p>○県内平均を上回る事故危険性</p> <ul style="list-style-type: none"> 死傷事故率が高い交差点や、県内直轄国道平均の約5倍となる単路区間が存在 死傷事故のうち追突事故が全体の7割以上 冬期は正面衝突事故等の発生割合が増加 	○交通混雑
歩行環境	<p>○不十分な歩行環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 片側に歩道がない区間で歩行者事故が発生 	○歩行空間の不足
産業・物流	<p>○不安定な物流ネットワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> 輸送時間の増加、ドライバーの拘束時間の増加 東北道通行止め時に、農産物や製造品の配送遅延 	○交通容量不足
救急医療	<p>○不十分な救急搬送環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 2車線で交通量が多く救急車が搬送しづらい状況 	○交通混雑

政策目標(案)



代替道路としての機能向上



交通安全の確保



安全・安心な歩行環境の確保



物流・地域産業を支える幹線道路の強化



安定した救急搬送ルート確保

自治体	上位計画	内容(抜粋)
宮城県	新・宮城の将来ビジョン (R2.12)	<p>◆富県宮城を支える県内産業の持続的な成長促進</p> <p>—時代に対応した宮城・東北の価値を高める産業基盤の整備・活用</p> <p>・産業振興、観光などの観点から県際・郡界道路等を整備し、それらを活用した地域連携が必要。</p> <p style="text-align: right;">【物流・地域産業を支える幹線道路の強化】</p>
	宮城県新広域道路交通計画 (R3.6)	<p>◆広域道路ネットワーク計画の基本方針</p> <p>・直轄国道等の基幹道路上の災害ハザードとなる脆弱区間については、代替路の指定または脆弱区間の対策内容の検討を行い、基幹道路の多重性・代替性を確保。</p> <p style="text-align: right;">【物流・地域産業を支える幹線道路の強化】</p>
	第7次宮城県地域医療計画 (H30.4)	<p>◆救急搬送体制の充実</p> <p>・現場到着から医療機関等への収容までの時間の短縮を図るため、医療機関との連携強化による迅速かつ円滑な搬送体制の整備を推進。</p> <p style="text-align: right;">【安定した救急搬送ルート確保】</p>
自治体	上位計画	内容(抜粋)
大崎市	第2次大崎市総合計画 (R4.2)	<p>◆安全・安心で交流が盛んなまちづくり(円滑な道路環境の整備)</p> <p>・幹線道路のネットワーク化(環状道路)及び地域連携道路の整備。</p> <p style="text-align: right;">【代替道路としての機能向上】</p>
	大崎都市計画マスタープラン(中間見直し) (R4.3)	<p>◆幹線道路の整備方針</p> <p>・自動車の走行性向上と歩行者の安全性確保を目標に、国道4号、国道47号、国道108号古川東バイパス等の整備を関係機関に働きかけていく。</p> <p style="text-align: right;">【交通安全の確保】 【安全・安心な歩行環境の確保】</p>
栗原市	第2次栗原市総合計画 (R4.4)	<p>◆田園都市としての質的向上に向けた新たな中核機能地域の形成</p> <p>・市内各地区における市民生活の質的向上を図るため、生活基盤の整備や利便性が高い交通ネットワークの構築等を推進し、広い市域の効果的な土地利用を推進。</p> <p style="text-align: right;">【代替道路としての機能向上】</p>
	栗原市都市マスタープラン改訂版(R4.2)	<p>◆道路ネットワークに係る課題</p> <p>・病院、消防署等の施設までの移動時間、距離の地域格差に対する、円滑な医療、防災活動を支える道路ネットワークの整備・改善が求められます。</p> <p style="text-align: right;">【安定した救急搬送ルート確保】</p> <p>◆拠点地区内の移動性確保に係る課題</p> <p>・高齢者、児童等の歩行の安全性を確保するため、歩道の設置・バリアフリー化等の推進を図る必要があります。</p> <p style="text-align: right;">【安全・安心な歩行環境の確保】</p>

7. 意見聴取方法(案)

◆ 以下のとおり、地域から意見聴取を実施。

1. 意見聴取の概要

・ アンケート調査の対象

調査対象者		調査手法・規模
地域 住民	<ul style="list-style-type: none"> 大崎市 (旧古川市3区・旧松山町・旧鹿島台町・旧岩出山町・旧鳴子町除く) 栗原市 (旧花山村除く) 登米市 (南方町・迫町北方・迫町新田のみ) 	<ul style="list-style-type: none"> 全戸配布 大崎市 約30,300世帯 栗原市 約22,300世帯 登米市 約 4,800世帯
道路 利用者	<ul style="list-style-type: none"> 大崎市、栗原市、登米市 	<ul style="list-style-type: none"> WEBアンケート (事務所ホームページ) 留置アンケート (市町村役場、公民館、道の駅等に設置)
事業者等	<ul style="list-style-type: none"> 対象区間の利用企業及び周辺立地企業 宮城県内 (仙台市、大崎市、栗原市、登米市、大和町、大郷町、大衡村等) 	<ul style="list-style-type: none"> 郵送配布、郵送回収 (約200社*) <small>※社名読取調査等により抽出した企業</small>

・ ヒアリング調査の対象

項目	ヒアリング対象
関係団体 (32団体)	<ul style="list-style-type: none"> 宮城県 (1団体) 自治体 (3市) 観光協会 (2団体) 消防機関 (3団体) 医療機関 (2団体) 教育機関 (2団体) 商工会議所 (2団体) バス事業者 (2団体) トラック協会 (3団体) 物流業者 (5社) 警察機関 (2団体) 農業関連団体 (2団体) 製造業者 (3社)

2. 地域への意見聴取の周知方法

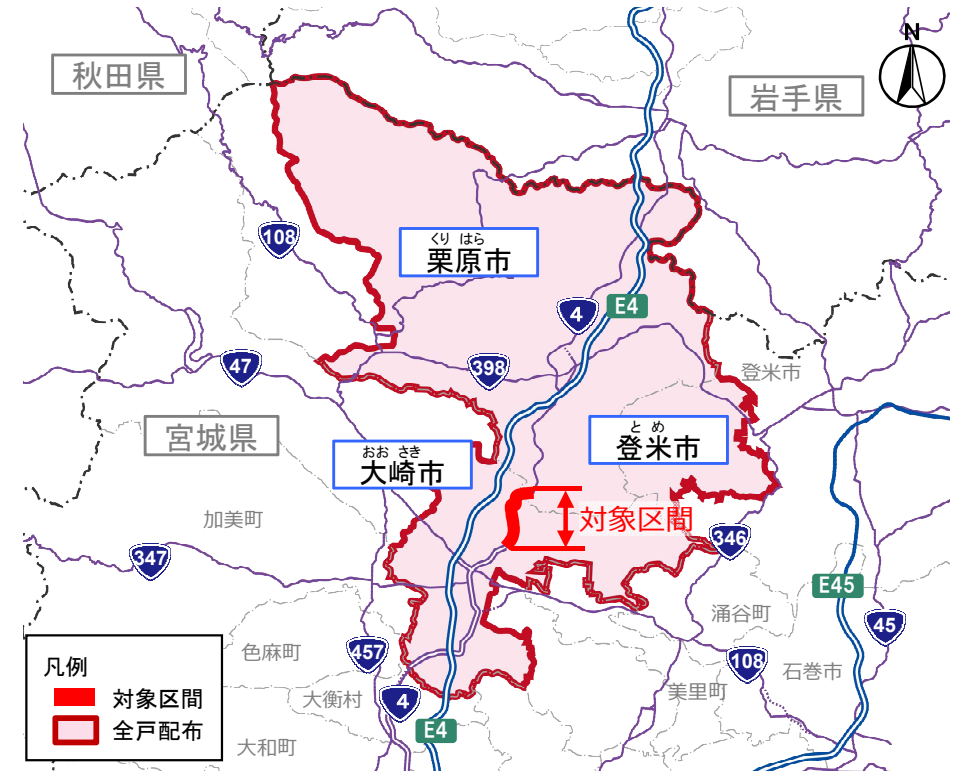
情報提供の項目
宮城県で発行部数の多い新聞にアンケートの協力を呼びかける広告を掲載
仙台河川国道事務所、市町ホームページに意見聴取のバナーを設置し広報を実施
調査対象地域である大崎市等で発行される広報紙に広告を掲載
仙台河川国道事務所等のSNSを用いて幅広く広報を実施

3. 意見聴取期間

・ 1~2ヶ月程度

4. 実施主体

・ 国土交通省 仙台河川国道事務所



7. 意見聴取方法(案)

◆ 意見聴取内容は、基礎的な情報のほか、地域の課題・政策目標（案）に対する意見を聴取。

5. 意見聴取(1回目)の内容

・対象区間の利用状況について

【住民用】

把握する意見	回答方法
①－(1)主な利用目的 1. 仕事 2. 通勤・通学 3. 家事(買物など) 4. 送迎 5. レジャー・ドライブなど 6. 利用しない 7. その他(括弧内に記載してください)	選択式 (単一回答)
①－(2)主な移動手段 1. 自動車 2. 公共交通(バス・タクシー) 3. バイク 4. 自転車 5. 徒歩	選択式 (単一回答)
①－(3)利用頻度 1. 週に5回以上 2. 週に3～4回 3. 週に1～2回 4. 月に1～2回 5. 年に数回	選択式 (単一回答)

【事業者用】

把握する意見	回答方法
①－(1)主な利用目的 1. 営業 2. 運送・運搬 3. 送迎 4. 旅客 5. 利用しない 6. その他(括弧内に記載してください)	選択式 (単一回答)
①－(2)主な移動手段 1. 乗用車 2. 大型貨物車 3. 小型貨物車 4. その他(括弧内に記載してください)	選択式 (単一回答)
①－(3)利用頻度 1. 週に5回以上 2. 週に3～4回 3. 週に1～2回 4. 月に1～2回 5. 年に数回	選択式 (単一回答)

・政策目標（案）について【住民・事業者 共通】

把握する意見	回答方法
②－(1)対象区間にはどのような課題があると思いますか？以下の1～5の各項目について、4段階で評価してください。 <道路の信頼性> 1. 冬期や東北道通行止め時には、混雑により通過に時間がかかる。 <事故> 2. 交通事故が多いと感じる。 <歩行環境> 3. 片側に歩道がない区間があり、通行に不安がある。 <産業・物流> 4. 物資輸送において問題が発生している。 <救急医療> 5. 片側1車線のため、救急搬送の支障になっている。	選択式 (単一回答)
②－(2)提示した課題意外に、課題だと感じてることを具体的に記載してください。	自由回答

・その他のご意見について【住民・事業者 共通】

把握する意見	回答方法
③－(1)その他、対象区間におけるご意見やご要望がありましたら、ご自由に記載してください。	自由回答

7. 意見聴取方法(案)

6. 調査の設問案

1) 調査概要

アンケートの答え方

STEP 01 アンケートの対象区間を確認する

赤色の区間の道路が対象区間です



STEP 02 アンケート対象区間の道路の課題を確認する

本誌の中間です



STEP 03 Web または はがき で回答する

回答は手軽な Web がおすすめ!

Webで回答する 以下のどちらかの方法でお答えください

① スマートフォンから

スマートフォンで右の二次元コードからアクセスしてください。回答フォームが開きます。



② パソコンから

「仙台河川国道事務所」で検索し、「国道4号 大崎市古川荒谷～栗原市高清水豊田」のバナーをクリックしてください。



はがきで回答する 同封の質問表に付いているはがきに回答を記載いただき、以下のどちらかの方法で返信してください。

質問票はこちらです

① お近くの郵便ポストに投函



② 仙台河川国道事務所、大崎市役所、栗原市役所、登米市役所、大崎市・栗原市内の公民館、公共施設、道の駅等の回収ボックスに投函



▲地域住民の方 ▲事業者用

みなさまのご意見お待ちしております。ご協力よろしくお願ひします。



みなさまのご意見をお聞かせください!

国道4号
ふるかわあらや たかしみず とよた
大崎市 古川荒谷～ 栗原市 高清水豊田
道路計画検討に関する第1回アンケート調査

全3問
(約4分程度)

- 大崎市から栗原市の国道4号は、都市の発展とともに道路の利用が変化、対象区間の道路に負担が生じているため、混雑や事故などの課題を抱えています。
- 本アンケートは、対象区間の課題を解決する道路計画検討にあたり、皆様が日ごろ感じている道路交通の課題等について、ご意見をお聞きするために行う調査です。

※ご意見は統計的に処理し、住所・氏名や個人の意見等が特定されることはありません。



今回のアンケートと道路計画の流れ

地域や道路交通の現状と課題の整理

アンケート

道路交通・地域の課題把握

政策目標の設定 対応方針案の検討

アンケート

ルート案に対する意見の把握

対応方針案の決定

お問い合わせ

国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所 調査第二課

TEL 022-248-0048 FAX 022-248-4164

Email ●●●●●●●● @mlit.go.jp

(平日 9:15~18:00)

アンケートのご回答は 令和●年●月●日(●)までをお願いします。

7. 意見聴取方法(案)

6. 調査の設問案

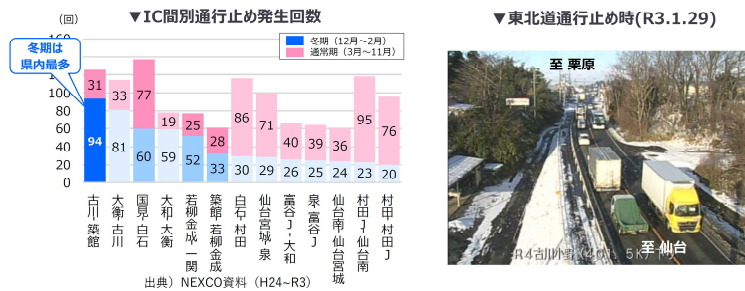
2) 地域の現状と課題

大崎市古川荒谷～栗原市高清水豊田が抱える課題

1 脆弱なダブルネットワーク

- 対象区間の混雑度は、県内国道4号2車線区間で最も高くなっています。
- 並行する東北道（古川IC～築館IC）では、冬期の通行止めが県内で最も多く、通行止め時には国道4号に交通が集中しています。

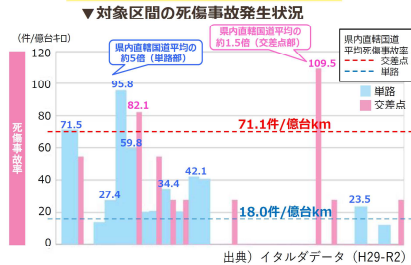
⇒東北道通行止め時は、交通が麻痺し幹線道路としての機能が低下しています。



2 県内平均を上回る事故危険性

- 死傷事故率が高い交差点や、県内平均の約5倍となる単路部があります。
- 冬期は正面衝突等の事故発生割合が増加しています。

⇒県内平均の5倍以上の事故が発生しており、安全性が低下しています。



3 不十分な歩行環境

- 歩道は未整備区間の歩行などにより事故が発生しています。

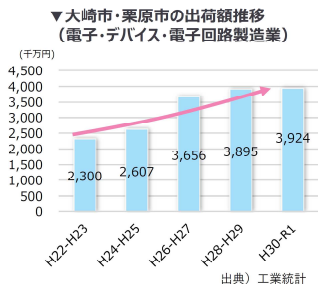
⇒歩行者空間の安全性が低下しています。



4 不安定な物流ネットワーク

- 大崎市・栗原市では、農業や電子部品・デバイス・電子回路製造業が主要産業で対象区間は農産物や製品の出荷などの物流ルートとして利用されています。
- 特に東北道通行止め時の混雑で、製品輸送の遅延などの影響が出ています。

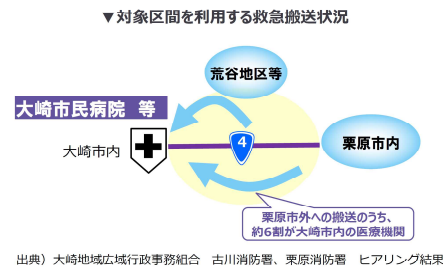
⇒混雑により、円滑な製品の輸送に支障が生じています。



5 不十分な救急搬送環境

- 栗原市は医師数が少なく、医療圏を跨いだ救急搬送があり、対象区間は重要な搬送区間となっています。
- 片側1車線のため、救急車は追越しやすり抜けが難しく、搬送しづらい状況にあります。

⇒大崎市内及び栗原市からの医療圏を跨いだ救急搬送に支障が生じています。



7. 意見聴取方法(案)

6. 調査の設問案

3) 住民用アンケート

【質問表 表面】

はがきで回答の方はこちら

国道4号 大崎市 古川荒谷～ 栗原市 たかみず とよた 高清水豊田

道路計画検討に関する第1回アンケート調査

はがき回答票
地域のみなさま用

質問 ① 対象区間(大崎市・栗原市)の道路利用についてお聞きします。最も当てはまる番号1つを選んでください。

(1)主な利用目的
1. 仕事 2. 通勤・通学 3. 家事(買物など) 4. 送迎 5. レジャー・ドライブなど
6. 利用しない(※質問②) 7. その他(括弧内に記載してください)

(2)主な移動手段
1. 自動車 2. 公共交通(バス・タクシー) 3. バイク 4. 自転車 5. 徒歩

(3)利用頻度
1. 週に5回以上 2. 週に3~4回 3. 週に1~2回
4. 月に1~2回 5. 年に数回

質問 ② 対象区間(大崎市・栗原市)の課題についてお聞きします。

(1)対象区間にはどのような課題があると思いますか?以下のA~Eの各項目について、あてはまる番号1つに○を付けて下さい。

A. 冬期や東北道通行止め時は、混雑により通過に時間がかかる。
B. 交通事故が多いと感じる。
C. 片側に歩道がない区間があり、通行に不安がある。
D. 物資輸送において問題が発生している。
E. 片側1車線のため、救急搬送の支障になっている。

(2)上記で提示した課題以外に、課題だと感じていることを具体的に記載してください。

質問 ③ その他、対象区間におけるご意見やご要望がございましたらご自由に記載してください。

郵便はがき 1枚目

〒982-8566 仙台市太白区あすと長町四丁目1-60

国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所 調査第二課

アンケート事務局 行

あなたについてお聞かせください

年齢 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代以上

職業 会社員・公務員・自営業 学生・主婦(主夫)・無職 その他()

性別 男 女

住所 郵便番号 [] [] 都・道・府・県 [] [] 市・町・村 地区名 []

運転免許 あり なし

※個人情報(同意な第三者に開示・提供することはありません。法令により開示を求められた場合を除きます。) ⇒裏面に続きます

郵便はがき 2枚目

〒982-8566 仙台市太白区あすと長町四丁目1-60

国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所 調査第二課

アンケート事務局 行

あなたについてお聞かせください

年齢 10代 20代 30代 40代 50代 60代 70代以上

職業 会社員・公務員・自営業 学生・主婦(主夫)・無職 その他()

性別 男 女

住所 郵便番号 [] [] 都・道・府・県 [] [] 市・町・村 地区名 []

運転免許 あり なし

※個人情報(同意な第三者に開示・提供することはありません。法令により開示を求められた場合を除きます。) ⇒裏面に続きます

【質問表 裏面】

アンケート回答例

●表面の質問を読み、あてはまる番号1つに○を付けて下さい。
●自由回答欄にはご自由に意見に記載してください。

質問 ① 対象区間(大崎市・栗原市)の道路利用についてお聞きします。

(1)主な利用目的	1	2	3	4	5	6	7()
(2)主な移動手段	1	2	3	4	5		
(3)利用頻度	1	2	3	4	5		

質問 ②-(1) 対象区間にはどのような課題があると思いますか?以下のA~Eの各項目について、あてはまる番号1つに○を付けて下さい。

項目	問題と 思わない	あまり 問題と 思わない	やや 問題と 思う	問題と 思う
A. 冬期や東北道通行止め時は、混雑により通過に時間がかかる	1	2	3	4
B. 交通事故が多いと感じる	1	2	3	4
C. 片側に歩道がない区間があり、通行に不安がある	1	2	3	4
D. 物資輸送において問題が発生している	1	2	3	4
E. 片側1車線のため、救急搬送の支障になっている	1	2	3	4

質問 ②-(2) 上記で提示した課題以外に、課題だと感じていることを具体的に記載してください。

ご自由に記載してください
(渋滞時は混雑を避けた車帯が生活道路へ流入し、通学の児童や生徒が危険にさらされている など)

質問 ③ その他、対象区間におけるご意見やご要望がございましたら、ご自由に記載してください。

ご自由に記載してください
(主要な幹線道路なので、信号の少ない道路整備をお願いします など)

アンケート返信方法

回答が終わりましたら以下のどちらかの方法で返信ください。

① 郵便ポストに投函
お近くの郵便ポストに投函してください。

② 回収ボックスに投函
仙台河川国道事務所、大崎市役所、栗原市役所、登米市役所、大崎市・栗原市内の公民館、公共施設、道の駅等に設置の回収ボックスに投函をお願いします。

※より多くの方のご意見をお聞きするため、回答は各世帯に2枚送付しています。
ご家族やお知り合いの方でご協力いただける場合は、お手数ですがアンケート票をお近くの市役所・役場などにも設置しておりますので、そちらをご利用ください。

アンケートのご回答は
令和●年●月●日
までお願いいたします。

こちらは表面(表面からの続き)です。 2枚目

質問 ① 対象区間(大崎市・栗原市)の道路利用についてお聞きします。

(1)主な利用目的	1	2	3	4	5	6	7()
(2)主な移動手段	1	2	3	4	5		
(3)利用頻度	1	2	3	4	5		

質問 ②-(1) 対象区間にはどのような課題があると思いますか?以下のA~Eの各項目について、あてはまる番号1つに○を付けて下さい。

項目	問題と 思わない	あまり 問題と 思わない	やや 問題と 思う	問題と 思う
A. 冬期や東北道通行止め時は、混雑により通過に時間がかかる	1	2	3	4
B. 交通事故が多いと感じる	1	2	3	4
C. 片側に歩道がない区間があり、通行に不安がある	1	2	3	4
D. 物資輸送において問題が発生している	1	2	3	4
E. 片側1車線のため、救急搬送の支障になっている	1	2	3	4

質問 ②-(2) 上記で提示した課題以外に、課題だと感じていることを具体的に記載してください。

質問 ③ その他、対象区間におけるご意見やご要望がございましたら、ご自由に記載してください。

ご協力ありがとうございました

こちらは裏面(表面からの続き)です。 1枚目

質問 ① 対象区間(大崎市・栗原市)の道路利用についてお聞きします。

(1)主な利用目的	1	2	3	4	5	6	7()
(2)主な移動手段	1	2	3	4	5		
(3)利用頻度	1	2	3	4	5		

質問 ②-(1) 対象区間にはどのような課題があると思いますか?以下のA~Eの各項目について、あてはまる番号1つに○を付けて下さい。

項目	問題と 思わない	あまり 問題と 思わない	やや 問題と 思う	問題と 思う
A. 冬期や東北道通行止め時は、混雑により通過に時間がかかる	1	2	3	4
B. 交通事故が多いと感じる	1	2	3	4
C. 片側に歩道がない区間があり、通行に不安がある	1	2	3	4
D. 物資輸送において問題が発生している	1	2	3	4
E. 片側1車線のため、救急搬送の支障になっている	1	2	3	4

質問 ②-(2) 上記で提示した課題以外に、課題だと感じていることを具体的に記載してください。

質問 ③ その他、対象区間におけるご意見やご要望がございましたら、ご自由に記載してください。

ご協力ありがとうございました

7. 意見聴取方法(案)

6. 調査の設問案

4) 事業者用アンケート

【質問表 表面】

国道4号 大崎市 ふるかわあらや 栗原市 たかしみず とよた **はがき 回答票** 事業者用

国道4号大崎市から栗原市の道路計画を検討するにあたり、地域の皆様のご意見をお聞かせください。

詳しくは「東北地方整備局 仙台河川国道事務所のHP」へアクセス願います。

インターネットによる回答を行う場合は下記の二次元コードか、「仙台河川国道事務所」で検索し、右記のパナーからアクセスしてください。

お問い合わせ 国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所
*宮城県および大崎市・栗原市と協力してアンケート調査を実施しております。

TEL 022-248-0048 FAX 022-248-4164
Email @mit.go.jp (平日9:15~18:00)

はがき回答票

このアンケートは大崎市・栗原市の製造業、卸売業等の事業所に配布しています。
企業(または部署)としてのご回答をお願いいたします。

事業所配布のアンケートは、**各事業所1通分の送付**としております。お近くの郵便ポストに投函いただくか、下記の設置場所の回収ボックスに投函をお願い致します。

また、インターネットからの回答も可能となっております。

◆返信方法
※以下のいずれかで返信をお願い致します。
①お近くの郵便ポストに投函をお願い致します。
②仙台河川国道事務所、大崎市・栗原市・登米市の市役所、大崎市・栗原市内の公民館、公共施設、道の駅等に設置の回収ボックスに投函をお願い致します。

◆締切 令和●年●月●日(●)

回答はがき

郵便はがき

〒982-8566 仙台市太白区あすと長町四丁目1-60
国土交通省 東北地方整備局 仙台河川国道事務所 調査第二課 アンケート事務局 行

ご協力をお願いします。

貴事業所についてお聞かせください。
貴社名
業種 <input type="checkbox"/> 製造業 <input type="checkbox"/> 卸売業 <input type="checkbox"/> リービス業 <input type="checkbox"/> 運輸業 <input type="checkbox"/> その他 []
電話番号
所在地 [] 都・道・府・県 [] 市・町・村
地区名 []
ご担当者様 所属 [] 氏名 []

※個人情報と同意なく第三者に開示・提供することはありません。(法令により開示を求められた場合を除きます。)

⇒裏面に続きます

【質問表 裏面】

質問票 (回答はがきにご記載をお願い致します。)

質問① 対象区間(大崎市・栗原市)の道路利用についてお聞きます。

(1)主な利用目的	1. 営業 2. 運送・運搬 3. 送迎 4. 旅客 5. 利用しない(※質問②A) 6. その他(括弧内に記載してください)
(2)主な移動手段	1. 乗用車 2. 大型貨物車 3. 小型貨物車 4. その他(括弧内に記載してください)
(3)利用頻度	1. 週に5回以上 2. 週に3~4回 3. 週に1~2回 4. 月に1~2回 5. 年に数回

質問② 対象区間(大崎市・栗原市)の課題についてお聞きます。

②-(1) 対象区間にはどのような課題があると思いますか？以下のA~Eの各項目について、あてはまる番号1つに○を付けて下さい。

A. 冬期や東北道通行止め時には、混雑により通過に時間がかかる。
B. 交通事故が多いと感じる
C. 片側に歩道がない区間があり、通行に不安がある。
D. 物資輸送において問題が発生している。
E. 片側1車線のため、救急搬送の支障になっている。

②-(2) 上記で提示した課題以外に、課題だと感じていることを具体的に記載してください。

質問③ その他、対象区間におけるご意見やご要望がございましたら、ご自由に記載してください。

こちらは裏面(表面からの続き)です。

質問① 対象区間(大崎市・栗原市)の道路利用についてお聞きます。

(1)主な利用目的	1	2	3	4	5	6()
(2)主な移動手段	1	2	3	4()		
(3)利用頻度	1	2	3	4	5	

質問②-(1) 対象区間にはどのような課題があると思いますか？以下のA~Eの各項目について、あてはまる番号1つに○を付けて下さい。

項目	問題と 思わない	あまり 問題と 思わない	やや 問題と 思う	問題と 思う
A. 冬期や東北道通行止め時には、混雑により通過に時間がかかる	1	2	3	4
B. 交通事故が多いと感じる	1	2	3	4
C. 片側に歩道がない区間があり、通行に不安がある	1	2	3	4
D. 物資輸送において問題が発生している	1	2	3	4
E. 片側1車線のため、救急搬送の支障になっている	1	2	3	4

質問②-(2) 上記で提示した課題以外に、課題だと感じていることを具体的に記載してください。

質問③ その他、対象区間におけるご意見やご要望がございましたら、ご自由に記載してください。

ご協力ありがとうございました

回答例

●あてはまる番号1つに○を付けて下さい。
●自由回答欄にはご自由に意見を記載してください。

質問① 対象区間(大崎市・栗原市)の道路利用についてお聞きます。

(1)主な利用目的	1	2	3	4	5	6()
(2)主な移動手段	1	2	3	4()		
(3)利用頻度	1	2	3	4	5	

質問②-(1) 対象区間にはどのような課題があると思いますか？以下のA~Eの各項目について、あてはまる番号1つに○を付けて下さい。

項目	問題と 思わない	あまり 問題と 思わない	やや 問題と 思う	問題と 思う
A. 冬期や東北道通行止め時には、混雑により通過に時間がかかる	1	2	3	4
B. 交通事故が多いと感じる	1	2	3	4
C. 片側に歩道がない区間があり、通行に不安がある	1	2	3	4
D. 物資輸送において問題が発生している	1	2	3	4
E. 片側1車線のため、救急搬送の支障になっている	1	2	3	4

質問②-(2) 上記で提示した課題以外に、課題だと感じていることを具体的に記載してください。

ご自由に記載してください
(学路にもなっているが、道路幅員が狭く運転に気がつかう など)

質問③ その他、対象区間におけるご意見やご要望がございましたら、ご自由に記載してください。

ご自由に記載してください
(主要な幹線道路なので、信号の少ない道路整備をお願いしたい
冬期も道幅が狭く走りづらい など)

ご協力ありがとうございました